

貧困プロフィール

セネガル

2013 年度版

独立行政法人 国際協力機構（JICA）

当資料は政府・国際機関の報告書・統計・資料からの抜粋を邦訳し、執務参考資料として取り纏めたものであり、JICA の見解を示すものではありません。転載・引用に際しては、直接、出典元から行い、当資料からの転載・引用は行わないでください。

基盤
JR
14-004

目次

I. 貧困状況の概観.....	1
II. セネガルの貧困削減のための政策枠組み.....	4
1. 貧困削減戦略・目標の有無と現状.....	4
III. 所得貧困による分析.....	9
1. 貧困線とデータ.....	9
2. 貧困状況・貧困率・貧困ギャップ率・ジニ分析.....	9
IV. 所得貧困以外による分析.....	14
1. 人間開発指数のトレンド、地域・国際比較.....	14
2. MDGs 達成状況（2005 年/2006 年、2008 年/2009 年と目標値の比較）.....	15
3. 食糧安全保障・脆弱性による分析.....	30
V. 社会的属性・特性と貧困との関連の分析.....	33
1. 社会的に排除されているグループの存在と貧困指標との関連.....	33
2. その他の要因と貧困との関連.....	39
VI. 貧困層・社会的弱者に影響を与えている短期的・長期的要因、リスクとショック.....	41
1. 気候変動.....	41
2. 出稼ぎと送金.....	42
3. 食糧価格.....	47
VII. 重点支援分野と貧困の関連性.....	49
1. 持続的経済成長の後押し.....	49
2. 基礎生活の拡充.....	55
添付 1. 参考文献リスト.....	63
添付 2. 主要な情報源リスト.....	66

図表・地図目次

図表 1	主要指標一覧（2001年、2009年 - 2011年）	i
図表 2	地方別貧困率、貧困ギャップ率（2005年、2011年）	iii
図表 3	貧困率・ジニ係数（2001年、2005年）	iii
図表 4	セネガルのHDI指標の推移（1980年 - 2012年）	iv
図表 5	セネガルにおけるMDGの進捗状況	v
図表 6	実質GDP成長率（2000年 - 2012年）	2
図表 7	セネガルの人口分布（2011年）	3
図表 8	地方別貧困率、貧困ギャップ率（2005年、2011年）（再掲）	7
図表 9	EPSP-IIの貧困線（2011年）	9
図表 10	貧困率の推移（地方・都市）（2001年/2002年、2005年/2006年、2010年/2011年）	10
図表 11	貧困率・貧困ギャップ率・二乗貧困ギャップ率（2001年、2005年、2011年）	11
図表 12	地方別貧困率、貧困ギャップ率（2005年、2011年）（再掲）	12
図表 13	貧困率・ジニ係数（2001年、2005年）（再掲）	13
図表 14	セネガルのジニ係数と各国の比較（1992年 - 2007年）	13
図表 15	セネガルのHDI指標の推移（1980年 - 2012年）	14
図表 16	セネガルのHDIの地域・国際比較（2012年）	15
図表 17	セネガルの多次元貧困率と他国との比較（2010年、2010年/2011年）	15
図表 18	セネガルにおけるMDGの達成見込み	16
図表 19	セネガルにおけるMDGの進捗状況（再掲）	17
図表 20	失業率、就業率、不完全雇用率の推移（2002年、2006年、2011年）	19
図表 21	若者の失業率の推移（2006年、2011年）	20
図表 22	5歳未満の低体重児の割合の推移（1992年、2005年、2011年）	21
図表 23	初等教育修了率の推移（2000年 - 2009年）	22
図表 24	識字率の推移（2001年 - 2002年、2005年 - 2006年、2010年 - 2011年）	23
図表 25	初等教育における女子の男子に対する割合（2000年、2009年）	24
図表 26	5歳児未満の死亡率の推移（1997年、2005年、2011年）	25
図表 27	妊産婦死亡率の推移（1992年、2005年、2011年）（10万出生当たり）	26
図表 28	マラリアによる死亡の割合の推移	27
図表 29	地方及び都市部における飲料水へのアクセス（2000年、2006年、2011年）	29
図表 30	公衆衛生施設へのアクセス（2000年、2006年、2011年）	29
図表 31	食糧安全保障と貧困の関係	32

図表 32	識字率の推移（2001年 - 2002年、2005年 - 2006年、2010年 - 2011年） （再掲）	33
図表 33	世帯主の性別及び居住地別貧困率（2011年）	34
図表 34	5歳未満の子供の民事的身分の登録及び出生証明書の所有状況	35
図表 35	子供の労働と教育状況	36
図表 36	世帯主の年齢及び居住地別貧困率（2011年）	37
図表 37	性別・年齢別識字率	38
図表 38	障がいのために就業・学習ができない人の割合（地域別・2011年）	39
図表 39	世帯主の婚姻状況及び居住地別の貧困率（2011年）	40
図表 40	過去5年間に居住区に大きな影響を与えた変化	41
図表 41	主要な出稼ぎ先（都市・地方別）	42
図表 42	移住の理由	43
図表 43	セネガルにおける送金額の推移（1999年 - 2009年）	44
図表 44	セネガル各県の都市・州別の送金元の割合	45
図表 45	各県（都市・州）別の送金が所得に占める割合	46
図表 46	セネガルにおける送金の使用（2005年）	47
図表 47	競争力ランキング（2010年 - 2011年）	49
図表 48	グローバル競争力の各指標（2009年 - 2010年、2010年 - 2011年）	50
図表 49	照明の電力源（2011年）	51
図表 50	フォーマル及びインフォーマルセクターの付加価値に占める割合（2005年 - 2009年平均）	52
図表 51	世帯主の職業別貧困率（2011年）	53
図表 52	インフォーマルセクターにおける事業主の教育レベル（性別）	54
図表 53	インフォーマル事業の資本源	55
図表 54	居住地別診療を受けた保健・医療機関	56
図表 55	保健サービスを利用しない理由	57
図表 56	居住地別世帯の水源	58
図表 57	居住地別トイレの種類の種類	58
図表 58	教育振興に係る指標	59
図表 59	初等教育修了率の推移（2000年 - 2009年）（再掲）	60
図表 60	学校において生徒が抱える課題（居住地別）	61
図表 61	世帯主の教育レベル別貧困率（2011年）	62
地図 1	セネガル全土地図	vii
地図 2	セネガルの行政区分（2012年）	viii
地図 3	食糧安全保障の状況（2010年）	31

地図 4 食糧価格により影響を受けた地域（2009年4月 - 2010年4月）	48
---	----

貧困関連用語解説¹

(1) 貧困指標

用語	解説
絶対的貧困 Absolute Poverty	ある最低必要条件の基準が満たされていない状態を示す。一般的には、人間として生存するために最低限必要とされる食糧と食糧以外のものが購入できるだけの所得または支出水準(=貧困線)に達していない状態を絶対的貧困と定義する。
相対的貧困 Relative Poverty	ある地域社会の大多数よりも貧しい状態を示す。例えば所得が地域内の下位10%に属する人は、衣食住が満たされていても相対的貧困者となる。また中所得国以上では、人間の生存の為に最低限必要な食糧と食糧以外の日常品ではなく、その社会で一般的な生活を送るために必要な収入・支出水準を元に相対的貧困線を設定する国もある。OECD などでは中位可処分所得の50%の水準を高所得国の相対的貧困線と定義している。
貧困線 Poverty Line	所得または支出水準が最低限の必要を満たす水準が貧困線であり、それに達しない層(=貧困者)が全人口に占める割合を貧困率・または指数として示す。これにより表される貧困を経済的貧困、所得貧困とも言う。
国際貧困線 International Poverty Line	MDGsを機に、国際的な絶対的貧困線として「1日1ドル未満」が設定された。国際貧困線以下の人口が世界の絶対的貧困者の数であり、その割合が国際貧困率として算出される。 1993年購買力平価での最貧15か国の貧困線の平均が月32.74米ドル(一日1.08米ドル)であったことから、MDGs指標として一日1ドルの指標が採用された。最貧国の国別貧困線の各国の物価は異なり、同じ1ドルで購入できるものには大差があるため、購買力平価(Purchasing Power Parity: PPP)を用いて、米国での1ドルの購買力に相当するように調整されている。2005年以降の貧困線は物価上昇などを加味し、2008年購買力平価における最貧15か国の貧困線の平均から、一日1.25ドルが国際比較のための絶対貧困線とされている ² 。
国別貧困線 National Poverty Line	国ごとの実情を反映し、各国政府が家計調査のデータなどに基づいて独自に設定したのが国別貧困線である。国内における物価の差異に対応するため、都市、地方、あるいは地域ごとに設定された異なる貧困線を元に、統計的に国家貧困線を算出する場合もある。多くの発展途上国では、下記のベーシックニーズ貧困線が国別貧困線とされている ³ 。下記の食糧貧困線とベーシックニーズ貧困線は、国によりUpper/Lower Poverty Lineや、Poverty Line/Extreme Poverty Lineなど様々な表現があるため、定義によっていずれであるかを判断する必要がある。
食糧貧困線 Food Poverty Line	人間が生存していく上で、最低限必要なエネルギーを摂取できる支出レベルを算出したもの。摂取エネルギーは、FAOが提唱する成人の一日に必要なカロリー(2100カロリー)を基準に、国ごとに設定される場合が多い。そのカロリーを摂取するための基本的な食糧の種類や構成は国ごとに設定され、都市・地方、あるいは地域の差異も配慮される場合がある。

¹ 主に国際協力総合研修所 2008年3月『指標から国を見る～マクロ経済指標、貧困指標、ガバナンス指標の見方～』

(http://jica-ri.jica.go.jp/IFIC_and_JBICI-Studies/jica-ri/publication/archives/jica/field/pdf/200803_aid02.pdf)、世界銀行(2009) Measuring Poverty and Inequality (<http://go.worldbank.org/4WJH9JQ350>) を元に作成。

² World Bank (2008) Dollar a Day Revisited (<http://go.worldbank.org/SMQ2FCW4J0>)

³ World Bank (2012) Poverty Measurement Methodology by Country (<http://go.worldbank.org/OP02MEZ880>)

用語	解説
ベーシックニーズ'貧困線 CBN/Basic Needs Poverty Line	ベーシックニーズ費用手法(The Cost of Basic Needs Method: CBN)を用い、食糧貧困線に非食糧、すなわち衣類、住居、医療などのための最低限の支出金額を足して算出される。
非食糧貧困線 Non Food Poverty Line	非食糧ニーズの種類や構成は国ごとに設定され、都市・地方、あるいは地域の差異も配慮される場合も多い。また、所得貧困(Income Poverty)という表現がされることが多いが、途上国での貧困率の算出に使用されるのはほとんどの場合支出に関するデータである。
貧困ギャップ率・指数 Poverty Gap Ratio・Index、P ₁	貧困率が貧困の発生頻度を表すのに対し、貧困ギャップ率は貧困の平均的「深さ(depth)」を表すために用いられる。通常、国別貧困率を元に算出される。貧困ギャップ率は、国民の収入または支出が貧困線に対して何パーセント下回っているか(乖離しているか)を、貧困線以上の人々の乖離率をゼロとして計算した数値である ⁴ 。貧困ギャップ率に貧困線と人口を乗じた数字が、貧困削減のための最低限の必要な費用であるとされ、政策上の目安となる。
二乗貧困ギャップ率・指数 Squared Poverty Gap Ratio・Index / Poverty Severity Ratio・Index、P ₂	貧困の極端な「深刻さ(severity)」を表すために用いられる。通常国別貧困率を元に算出される。二乗貧困ギャップ率は、貧困線からの乖離率を二乗したもので、乖離率が高ければ(貧困の深刻度が高い)、より大きく数値に反映される。

(2) 不平等指数

用語	解説
ジニ係数・指数 Gini Coefficient, Gini Index	国や地域の所得(または消費)の平等・不平等度を示す指標。完全に平等な社会では0になり、完全に不平等な社会では1となる。なお、世界銀行の統計などではパーセンテージ表示のジニ指数(Gini Index)を用いており、完全に不平等な社会を100で表す。通常30から50の範囲になることが多く、40を超えると社会が不安定になると一般的に言われている。
所得階層別の所得シェア Percentage Share of Income or Consumption	ジニ係数を算出する基礎となるもの。人口を所得水準で階層分類し(五分位または十分位)、国全体の所得のうちそれぞれの階層が占める割合を%で表示。一般的に、五分位の最下層20%が全体の6-10%の消費を行い、最上位20%が全体の35-50%の消費を行っている場合が多い。

(3) 開発指数

用語	解説
人間開発指数 Human Development Index: HDI ⁵	人間開発の3つの基本的側面(①寿命、②知識、③生活水準)を総合して、各国の達成度を測定、比較するための指数。経済指標のみでは表せない国の開発の度合いを表す尺度として、UNDPが1990年に刊行した『人間開発報告(Human Development Report)』の中で用い各国のランキングを行ったことに始まる。算出方法は、①平均寿命指数、②教育指数(成人識字率と初等・中等・高等教育総就学率)、③GDP指数(1人当たり実質GDP(PPP))について、それぞれの最大値を1、最小値を0として算出し、3つの平均値をとる。

⁴ World Bank (2009) Handbook on poverty and inequality
(<http://issuu.com/world.bank.publications/docs/9780821376133>.)

⁵ HDIの詳細についてはUNDP HDI公式ウェブサイト(<http://hdr.undp.org/en/data/about/>)はUNDP東京事務所から日本語でも入手可能。
http://www.undp.org/content/tokyo/ja/home/library/human_development/human_development1.html)

用語	解説
	2010年よりHDIの派生指標として不平等調整済みHDI(IHDI)が導入されている。また、それまで発表されていたジェンダー開発指数(GDI)とジェンダーエンパワメント指数(GEM)に代わってジェンダー不平等指数(GII)が、人間貧困指数(HPI)に代わって多次元貧困指数(MPI)が導入された。

(4) 他

用語	解説
ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals:MDGs) ⁶	2000年9月、ニューヨークの国連本部で開催された国連ミレニアム・サミットに参加した147の国家元首を含む189の国連加盟国代表は、21世紀の国際社会の目標として「国連ミレニアム宣言」を採択した。この宣言と1990年代に開催された主要な国際会議やサミットでの開発目標をまとめたものがMDGsである。MDGsは国際社会の課題に対して、2015年までの達成を目指す期限付きの8つの目標、21のターゲット、60の指標を掲げている。貧困に関する様々な経済的・非経済的指標が取り上げられているが、その第1目標が、「一日1.0ドルの未満(2005年以降は1.25ドル)の絶対的貧困線以下の人口を半減する」という目標である。
脆弱度分析と地図化 (Vulnerability Analysis and Mapping:VAM) ⁷	食糧安全保障の観点から、「人々が最低限の厚生水準を維持できないほど、食糧へのアクセスや食糧消費が急速に低下する可能性」を「脆弱性」と定義し、地域別の脆弱度を地図化したものがVAMである。WFPが緊急食糧援助を行う際、援助を最も必要とする人々や地域を選定し、効果的な支援を行うために開発した。VAMは、包括的食糧安全保障・脆弱度分析(CFSVA)、食糧安全保障モニタリング・システム、GISデータをを用いた空間分析と地図化の3つの活動からなる。CFSVAでは、社会政治環境、地理・気象条件、マクロ経済、教育・保健水準、農業、環境などの観点から食糧安全保障と脆弱性に影響を与える要素を包括的に分析する。既存のデータに加え、家計調査や市場価格調査などを組み合わせ、「どのような社会グループ(生計活動や食糧入手手段)が影響を受けやすいか」などの分析も行う。

⁶ MDGについては国連MDG公式ウェブサイト。(<http://unstats.un.org/unsd/mdg/default.aspx>)

⁷ VAMに関してはWFP VAMウェブサイト (<http://www.wfp.org/food-security>)

略語表

略語	正式名称	日本語名
ANSD	Agence Nationale de la Statistique et de la Démographie	国立統計人口局
ARV	Anti retrovirals	抗レトロウイルス薬
DPES	Document de politique économique et sociale	経済社会政策文書
DSRP	Document de stratégie de réduction de la pauvreté	貧困削減戦略文書
ECOWAS	Economic Community of West African States	西アフリカ諸国経済共同体
EDS	Enquête démographique et de santé	人口保健調査
ESPS	Enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal	貧困モニタリング調査
GDP	Gross Domestic Product	国内総生産
GNI	Gross National Income	国民総所得
HDI	Human Development Index	人間開発指数
HIPC	Heavily indebted Poor Countries	重債務貧困国
HIV/AIDS	Human Immunodeficiency Virus/ Acquired Immunodeficiency Syndrome	ヒト免疫不全ウイルス感染症・後天性免疫不全症候群
LMI-SSA	Lower-Middle Income Sub-Saharan African States	低・中所得サブサハラ諸国
MDGs	Millennium Development Goals	ミレニアム開発目標
MDRI	Multilateral Debt Relief Initiative	多国間債務救済イニシアティブ
MPI	Multidimensional Poverty Index	多次元貧困指数
NEPAD	New Partnership for Africa's Development	アフリカ開発のための新パートナーシップ
PEPAM	Programme eau potable et assainissement pour le millénaire	ミレニアム飲料水・公衆衛生プログラム
PNDS-II	Deuxième Plan National de Développement Sanitaire	第二次国家保健開発計画
PNLS	Programme national de lutte contre le sida	国家 AIDS 対策プログラム
PRN	Programme de Renforcement de la Nutrition	栄養強化政策
SCA	Stratégie de croissance accélérée	経済成長戦略

略語	正式名称	日本語名
SENELEC	Société nationale d'électricité du Sénégal	セネガル電力公社
SNDES	Stratégie nationale de développement économique et social	国家経済社会開発戦略
UEMOA	Union économique et monétaire ouest africaine	西アフリカ経済通貨同盟
WFP	World Food Programme	国際連合世界食糧計画

図表 1 主要指標一覧 (2001年、2009年 - 2011年) ⁸

2013年11月版

主要指標一覧 【セネガル】		2001年	2009年	2010年	2011年	2011年の 地域平均値
社 会 指 標 等	地表面積(1000km ²)	197	197	197	197	n.a.
	人口(百万人)	10.1	12.6	13.0	13.3	887.2
	人口増加率(%)	2.6	2.8	2.8	2.9	2.7
	出生時平均余命(歳)	58	63	63	63	56
	妊産婦死亡率(出生10万人当たり)	n.a.	n.a.	370	n.a.	n.a.
	乳児死亡率(出生1000人当たり)	67.7	48.7	47.3	46.2	65.9
	栄養不足人口(%)	23.5	18.4	20.4	20.5	24.5
	一人当たりカロリー摂取量(kcal/1日) ^{*1}	2,252	2,479	n.a.	n.a.	n.a.
	初等教育総就学率(男)(%)	76.7	84.9	84.4	83.4	103.6
	初等教育総就学率(女)(%)	68.1	88.8	89.3	89.0	96.3
	初等教育修了率(%)	44.7	59.9	59.2	62.8	69.2
	中等教育総就学率(男)(%)	20.1	n.a.	39.9	43.9	44.8
	中等教育総就学率(女)(%)	13.3	n.a.	34.9	40.3	37.1
	高等教育総就学率(%)	n.a.	8.3	7.9	n.a.	7.6
	男性成人識字率(15歳以上の男性人口の内:%)	n.a.	61.8	n.a.	n.a.	68.8
	女性成人識字率(15歳以上の女性人口の内:%)	n.a.	38.7	n.a.	n.a.	51.3
	女性の国会議員比率(%)	16.7	22.7	22.7	22.7	20.5
	絶対的貧困水準(1日1.25\$以下の人口比:%)	44.2	n.a.	n.a.	30	n.a.
	失業率(%)	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
	軍事費(対GDP比:%)	1.4	1.6	1.6	n.a.	1.5
	携帯電話契約者数(100人当たり)	3.1	57.0	67.1	73.3	53.3
	人間開発指数 ^{*2} (2011年ランキング:155位/187カ国)	0.430	n.a.	0.470	0.471	0.472
	経 済 指 標	GDP(百万USDドル)	4,878	12,769	12,855	14,448
一人当たりGNI(USDドル)		490	1,030	1,040	1,030	1,256
実質GDP成長率(%)		4.6	2.1	4.1	2.6	4.5
産業構造(対GDP比:%)						
農業		18.5	17.2	17.4	14.8	11.6
工業		24.5	21.7	22.4	23.7	29.7
サービス業		57.0	61.0	60.2	61.4	58.6
産業別成長率(%)						
農業		1.3	11.6	5.0	-11.1	n.a.
工業		5.0	3.4	5.5	7.3	n.a.
サービス業		3.0	-2.2	2.5	4.8	5.3
総資本形成率(対GDP比:%)		18.4	27.9	29.0	30.3	21.7
貯蓄率(対GDP比:%)		9.4	9.3	10.8	10.8	17.7
消費者物価上昇率(インフレ:%)		3.1	-1.1	1.3	3.4	5.9
財政収支(対GDP比:%)		-2.1	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
中央政府債務残高(対GDP比:%)		68.9	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
貿易収支(対GDP比:%)		-9.0	-18.6	-18.2	-19.5	-2.7
経常収支(対GDP比:%)		n.a.	-6.7	-4.7	n.a.	n.a.
外国直接投資純流入額(百万ドル)		32	330	275	286	42,180
対外債務残高(対GNI比:%)		77.1	29.7	30.7	30.6	n.a.
DSR(対外債務返済比率:%)		14.6	6.1	n.a.	n.a.	n.a.
総外貨準備高(百万ドル)		456	2,123	2,047	1,946	n.a.
(輸入支払い可能月数)		n.a.	4.5	4.4	n.a.	4.9
名目対ドル為替レート ^{*3}	733.04	472.19	495.28	471.87	n.a.	
(CFA Francs per US Dollar: Period Average)						
政 治 指 標	政治体制:共和制。大統領が最高権力者 憲法:2001年1月7日国民投票で承認 元首:大統領。マッキ・サル(Macky SALL)。直接選挙制。任期7年。2012年4月2日就任 議会:国民議会。150議席。任期5年 内閣:大統領が任命。首相 アブドゥル・ムハイ(Abdoul Mbaye)。2012年4月4日発足、10月29日改選					

出典 World Development Indicators Online (September 2013) World Bank

*1 FAO Food Balance Sheets (June 2012) FAOSTAT Homepage

*2 Human Development Report (2003/2011) UNDP

*3 International Financial Statistics Online (October 2013) IMF

*4 世界年鑑 2013 共同通信社

注 ●地域平均値はサブサハラ・アフリカの数値(地域分類は別添参照)

●「人口」、「GDP」、「外国直接投資純流入額」及び「総外貨準備高(百万ドル)」の「2011年の地域平均値」においては、地域の総数を示す

●総就学率は、学齢人口に占める就学者総数(年齢を問わない)の割合であるため、数値が100を超えることがある

⁸ JICA 研究所にて年 3 回改定。 <https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/shihyo-p.html>

中央政府歳入・歳出【セネガル】

	2009年	2010年	2011年	2011年		対ドルレート
	(百万CFAフラン)	(百万CFAフラン)	(百万CFAフラン)	(百万US\$)*	対GDP比	
歳入	1,304,200	1,398,343	1,525,600	3,233	22.4%	471.87
租税収入	1,084,400	1,194,724	1,286,900	2,727	18.9%	
社会保障	0	0	0	0	0.0%	
贈与受取	182,800	161,871	150,000	318	2.2%	
その他	37,000	41,748	88,700	188	1.3%	
歳出	997,800	995,129	1,192,500	2,527	17.5%	6,817.626
人件費	364,400	392,310	428,000	907	6.3%	
財貨・サービス	339,500	300,439	342,200	725	5.0%	
固定資本減耗	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	
利払い	45,300	60,080	102,700	218	1.5%	
補助金	0	0	0	0	0.0%	
贈与支払	248,600	242,300	319,600	677	4.7%	
扶助費	0	0	0	0	0.0%	
その他	0	0	0	0	0.0%	
非金融資産の純増	606,900	735,637	752,400	1,595	11.0%	
財政収支	-300,500	-332,422	-419,300	-889	-6.2%	

総支出内訳(目的別分類)【セネガル】

	2009年	2010年	2011年	2011年		対ドルレート
	(百万CFAフラン)	(百万CFAフラン)	(百万CFAフラン)	(百万US\$)*	対GDP比	
総支出	1,604,700	1,730,765	1,944,900	100.0%	4,122	28.5%
一般サービス	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
国防	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
公安	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
経済関連	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
農林水産業	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
エネルギー	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
鉱工業・建設業	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
運輸	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
通信	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
環境保全	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
住宅・生活関連施設	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
保健・医療	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
レクリエーション・文化	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
教育	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
社会保障・福祉	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.

注: 総支出内訳における総支出には非金融資産の純増を含む

会計年度は1月～12月

*: 対ドル換算レートはOfficial Rate, Period Average (出典) IMF, International Financial Statistics (Online), October 2013

**: GDP (出典) IMF, World Economic Outlook Database, October 2013

出典: IMF, Government Finance Statistics (Online), October 2013

対セネガル JICA 事業実績

(単位: 億円)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	累計
円借款(承諾額)	-	-	-	-	-	155.20
(実行額)	4.26	3.96	1.12	-	-	
無償資金協力	23.28	31.67	32.21	8.06	18.44	
技術協力	14.45	18.47	19.62	28.35	22.57	394.78
(うち機材供与)	0.30	0.01	0.17	1.17	2.01	28.77

対セネガル JICA 技術協力人数実績

(単位: 人)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	累計
研修員受入	114	110	125	133	204	3,750
専門家派遣	33	44	76	87	93	661
調査団派遣	18	70	84	69	83	1,793
協力隊派遣	40	53	45	39	28	913
その他ボランティア	0	1	0	0	3	9

注: 年の区切りは日本の会計年度(4月～3月)。無償は当年度供与限度額(JICA実施監理案件)

出典: JICA事業実績

対セネガル ODA 実績

《我が国》

(支出総額、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等	無償資金協力	技術協力	合計
2007年	-	18.59	13.36	31.95
2008年	3.19	7.89	14.05	25.13
2009年	3.83	25.32	17.58	46.74
2010年	2.80	30.82	21.58	55.21
2011年	-	56.34	26.49	82.83
累計	-16.29	934.18	328.14	1,246.03

《D A C 諸国・国際機関》

(支出総額、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2009年	フランス 140.88	米国 67.67	スペイン 59.26	カナダ 54.49	日本 46.74	46.74	514.36
2010年	フランス 157.23	米国 101.42	カナダ 56.71	日本 55.21	スペイン 45.57	55.21	534.36
2011年	フランス 177.32	米国 114.03	日本 82.83	カナダ 61.83	スペイン 36.84	82.83	589.70

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2009年	EU Ins. 134.45	IDA 134.33	IMF 99.80	AIDF 40.40	Isl.Dev Bank 30.04	58.28	497.30
2010年	IDA 110.44	EU Ins. 84.05	AIDF 63.57	IMF 48.84	GFATM 18.58	53.98	379.46
2011年	IDA 172.12	EU Ins. 112.46	AIDF 94.04	Isl.Dev Bank 23.42	GFATM 23.08	28.63	453.75

注: 年の区切りは1月～12月の暦年。国際機関の略語は別添参照

出典: OECD/DAC

図表 2 地方別貧困率、貧困ギャップ率（2005年、2011年）

Tableau 4.3: Mesures de la pauvreté selon la région

Région	ESPS-II -I			ESPS-II -II		
	Incidence de pauvreté	Écart de pauvreté	Sévérité de la pauvreté	Incidence de pauvreté	Écart de pauvreté	Sévérité de la pauvreté
Dakar	27,7	6,6	2,3	26,1	5,8	2,1
Ziguinchor	73,4	29,3	14,4	66,8	26,6	13,5
Diourbel	50,1	14,8	6,3	47,8	13,0	5,1
Saint-Louis	34,9	9,4	3,6	39,5	11,8	4,9
Tambacounda	76,9	34,9	20,4	62,5	21,7	9,9
Kaolack	52,0	15,2	6,2	61,7	19,5	8,1
Thiès	48,4	14,8	6,6	41,3	10,5	4,3
Louga	66,8	24,6	12	26,8	5,7	2,1
Fatick	66,1	22,9	10,9	67,8	21,7	9,5
Kolda	60,9	20,6	9,3	76,6	35,5	20,8
Matam	49,5	14,5	5,9	45,2	14,1	6,4
Kaffrine				63,8	21,2	10,5
Kédougou				71,3	27,4	14,1
Sédhiou				68,3	23,5	11
Ensemble	48,3	15,4	7,0	46,7	14,5	6,6

Source: ESPS-II-I et ESPS-II, ANSD, Dakar, Sénégal.

NB : Les données de pauvreté régionales feront l'objet de recherches approfondies en vue de documenter les tendances observées entre 2005 et 2011.

(注) Incidence de pauvreté : 貧困率、écart de pauvreté : 貧困ギャップ率、sévérité de la pauvreté : 二乗貧困ギャップ率

(出所) République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.30

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

図表 3 貧困率・ジニ係数（2001年、2005年）

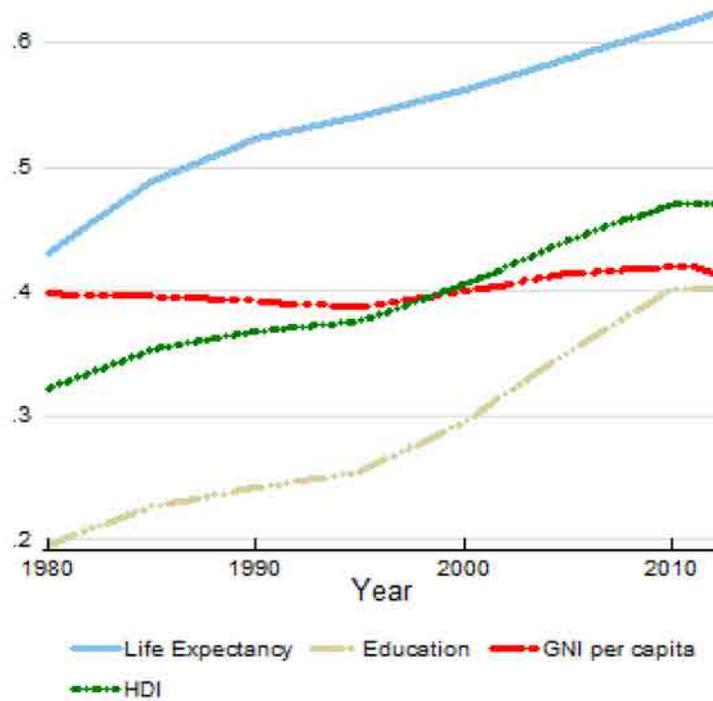
	世帯				個人			
	国全体	ダカール	その他都市部	地方	国全体	ダカール	その他都市部	地方
2001-2002								
貧困率 (%)	48.5	33.3	43.3	57.5	57.1	42.0	50.1	65.2
ジニ係数	37.4	41.9	38.3	29.9	34.2	37.3	35.2	30.1
2005-2006								
貧困率 (%)	42.6	25.3	30.8	55.6	50.8	32.5	38.8	61.9
ジニ係数	35.1	35.3	32.1	31.4	32.0	31.9	28.9	30.2
割合 (%)	100	16.6	13.3	70.1	100	15.4	13.4	71.2

(出所) République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaires pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.a

http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Country%20Reports/Senegal/Progress_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

図表 4 セネガルの HDI 指標の推移 (1980 年 - 2012 年)

Figure 1: Trends in Senegal's HDI component indices 1980-2012

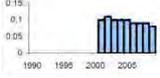
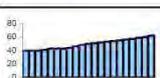
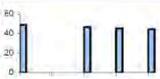
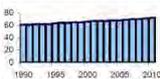
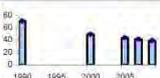
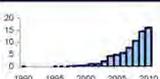


(出所) UNDP, Explanatory note on 2013 HDR composite indices

<http://hdr.undp.org/sites/default/files/Country-Profiles/SEN.pdf> (2014年1月6日アクセス)

図表 5 セネガルにおける MDG の進捗状況

MDG Country Progress Snapshot: Senegal										Last update: Dec. 2012	
Goals and Targets	Indicators	First Year		Latest Year		Country Progress		Region Latest Data: Sub-Saharan Africa			
		Value	Year	Value	Year	Level ^{1/}	Chart	Value	Year		
Goal 1: Eradicate Extreme Poverty and Hunger											
Reduce extreme poverty by half	Proportion of population living below \$1.25 (PPP) per day (%)	65.8	1991	33.5	2005	very high poverty		47.5	2008		
Reduce hunger by half	Proportion of population below minimum level of dietary energy consumption (%)	21.7	1991	20.5	2011	moderately high hunger		27.0	2008		
Goal 2: Achieve Universal Primary Education											
Universal primary schooling	Net enrolment ratio in primary education (enrollees per 100 children)	56.9	1999	78.0	2010	moderate enrollment		76.2	2010		
Goal 3: Promote Gender Equality and Empower Women											
Equal girls' enrolment in primary school	Ratio of girls to boys in primary education	0.73	1991	1.06	2010	close to parity		0.93	2010		
Women's share of paid employment	Share of women in wage employment in the non-agricultural sector (%)	10.6	2001	low share		32.5	2010		
Women's equal representation in national parliaments	Proportion of seats held by women in national parliament (single or lower house only - %)	12.5	1990	22.7	2012	moderate representation		20.0	2012		
Goal 4: Reduce child mortality											
Reduce mortality of under-five-year-old by two thirds	Under-five mortality rate (deaths of children per 1,000 births)	135.9	1990	64.8	2011	moderate mortality		121			
Goal 5: Improve maternal health											
Reduce maternal mortality by three quarters	Maternal mortality ratio (maternal deaths per 100,000 live births)	670	1990	370	2010	high mortality		500	2010		
Access to universal reproductive health	Contraceptive prevalence rate (percentage of women aged 15-49, married or in union, using contraception)	7.4	1993	13.1	2011	low access to reproductive health		24.6	2010		
	Unmet need for family planning (percentage of women aged 15-49, married or in union, with unmet need for family planning)	28.8	1993	32.0	2005			25.4	2010		

MDG Country Progress Snapshot: Senegal		Last update: Dec. 2012								
Goals and Targets	Indicators	First Year		Latest Year		Country Progress		Region Latest Data: Sub-Saharan Africa		
		Value	Year	Value	Year	Level ^{1/}	Chart	Value	Year	
Goal 6: Combat HIV/AIDS, malaria and other diseases										
Halt and begin to reverse the spread of HIV/AIDS	HIV incidence rate (number of new HIV infections per year per 100 people aged 15-49)	0.10	2001	0.08	2009	intermediate incidence		4.80	2010	
Halt and reverse spread of tuberculosis	Incidence rate and death rate associated with tuberculosis	Number of new cases per 100,000 population	195	1990	288	2010	moderate mortality		276	2010
		Number of deaths per 100,000 population	40.0	1990	62.0	2010			30	2010
Goal 7: Ensure environmental sustainability										
Reverse loss of forests	Proportion of land area covered by forest (%)	48.6	1990	44.0	2010	high forest cover		28.1	2010	
Halve proportion without improved drinking water	Proportion of population using an improved drinking water source (%)	61.0	1990	72.0	2010	low coverage		61.0	2010	
Halve proportion without sanitation	Proportion of population using an improved sanitation facility (%)	38.0	1990	52.0	2010	low coverage		30.0	2010	
Improve the lives of slum-dwellers	Proportion of urban population living in slums (%)	70.6	1990	38.8	2009	high proportion of slum-dwellers		61.7	2012	
Goal 8: Develop a global partnership for development										
Internet users	Internet users per 100 inhabitants	0.0	1990	17.5	2011	moderate usage		12.6	2011	
<p>The MDG Country Progress Snapshot provides an overview of the progress achieved at country level since 1990 towards the Millennium Development Goals. The snapshot is intended mainly to provide the international community easy access to the information and are not meant to replace in any way the country profiles produced at the national level in several countries. They are also meant to reflect the contribution of country-level progress to the global and regional trends on progress towards the MDGs.</p> <p>The data used in the snapshot are from the MDG global database (http://mdgs.un.org/unsd/mdg/Data.aspx). The metadata and responsible agencies can be found on http://mdgs.un.org/unsd/mdg/Metadata.aspx. Sources of discrepancies between global and national figures are due to, among others, different methodology and definitions or different choice of data sources. At the global level, the monitoring of the progress aims to ensure better comparability of data among countries. Country can contact the responsible agencies for resolving data discrepancies.</p> <p>Note: 1) The country progress level indicates the present degree of compliance with the target based on the latest available data. The technical note on the progress level can be found at http://mdgs.un.org/unsd/mdg/Resources/Static/Products/Progress2012/technicalnote.pdf</p>										

(出所) Millennium Development Indicators ウェブサイト

<http://mdgs.un.org/unsd/mdg/Resources/Static/Products/Progress2012/Snapshots/SEN.pdf> (2014年1月6日アクセス)

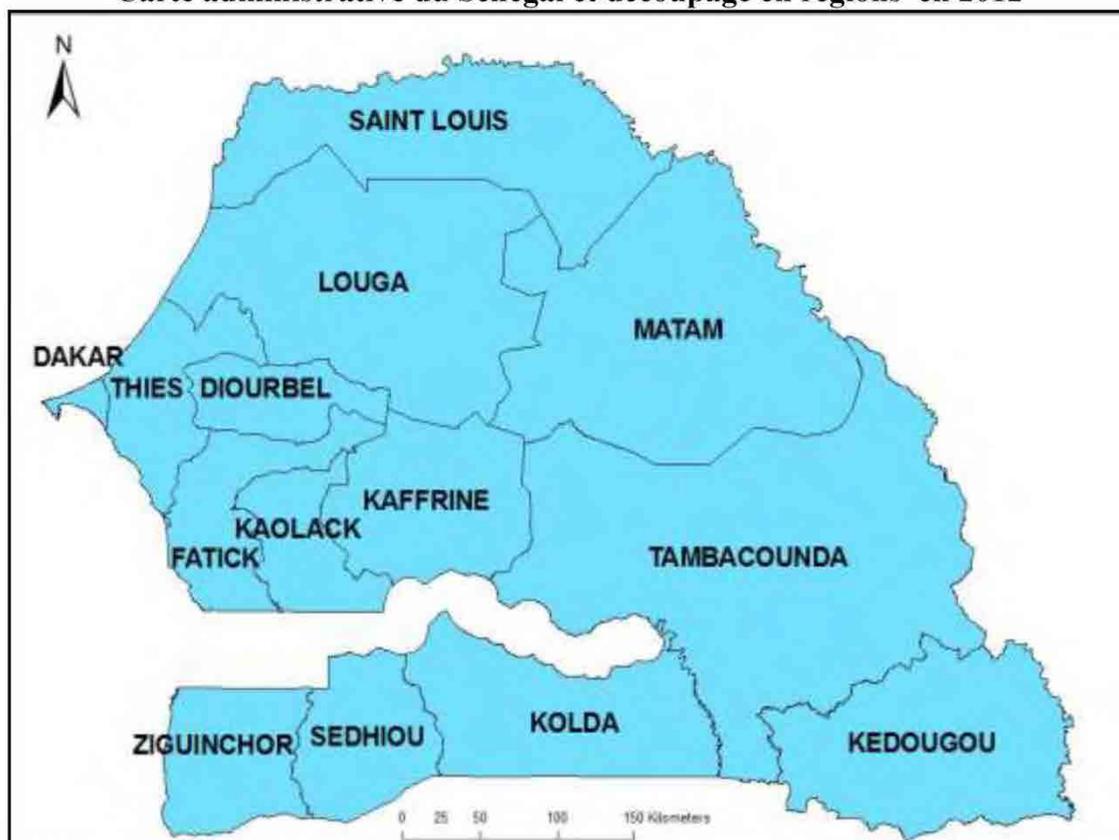
地図 1 セネガル全土地図



(出所) University of Texas Libraries http://www.lib.utexas.edu/maps/cia13/senegal_sm_2013.gif
(2014年1月6日アクセス)

地図 2 セネガルの行政区分 (2012 年)

Carte administrative du Sénégal et découpage en régions en 2012



(出所) République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.2

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014 年 1 月 6 日アクセス)

I. 貧困状況の概観

セネガルは、西アフリカに位置し、北部はモーリタニア、東部はマリ、南部でギニア、ギニア・ビサウと接し、南部にガンビアを取り囲む形で位置している。国土面積は19万6,722平方キロメートルで、14の州(région)、45の県(département)、117の郡(arrondissement)、165のコミュン(commune)、123の区(arrondissement)、383の農村共同体(communauté rurale)から構成されている⁹。安定した民主政治を維持しているが、1980年代以降、南部のカザマンズ地方において独立紛争が継続している¹⁰。

セネガルは、後発開発途上国に分類され、これまでに重債務貧困国(Heavily Indebted Poor Countries : HIPC) イニシアティブ及び多国間債務救済イニシアティブ(Multilateral Debt Relief Initiative : MDRI)に基づく債務救済を受けている¹¹。

天然資源が少ないセネガルの主要産業は漁業と観光である。近隣諸国と比較すると第三次産業が発展しており¹²、GDP(2012年)は、第一次産業が14.6%、第二次産業が21.2%、第三次産業が45.5%を占め、さらに公共分野が18.7%を占めている¹³。

2012年は、ユーロ圏の債務問題、隣国マリの政情不安定といった影響があったものの、前年度にみられた経済成長の落ち込みから回復し、GDP成長率3.5%を記録した(図表6)。これは、十分な降水量や政府による農業の投入資材の配布が行われた結果農業が好調であったこと、さらにエネルギーセクターにおける政府の改革が進んだことによるものである¹⁴。

セネガルの人口は、女性の方が51%と男性より多くなっていることが特徴である。また、人口の約半分以上の56.2%が地方に居住している。都市部に居住する人口の半数以上はダカールに居住している(23.5%) (図表7)。

セネガルでは、貧困を「食糧、快適な衣服や住居、教育や保健へのアクセス、飲料水へのアクセスなどに関して複数の欠乏状況がある場合」と定義している。さらに、第二次貧困削減戦略(Document de stratégie de réduction de la pauvreté : DSRP)策定時には、貧困とは「持たず、知らず、できず」(l'absence d'avoir, de savoir et de pouvoir)という状況

⁹ ANSD, Enquête démographique et de santé continue au Sénégal (EDS-Continue) 2012-2013, Rapport final 1ère année, p.1

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/EDS-continue_2012-2013.pdf

(2014年1月6日アクセス)

¹⁰ WFP/PAM (2010) Analyse globale de la vulnérabilité, de la sécurité alimentaire et de la nutrition, p.12

<http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp244420.pdf> (2014年1月6日アクセス)

¹¹ MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.12

http://www.un.org/sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2014年1月6日アクセス)

¹² UNDP (2010) Rapport national sur le développement humain, Changement climatique, Sécurité alimentaire et Développement humain, p.23

http://hdr.undp.org/sites/default/files/rndh_senegal_2010.pdf (2014年1月6日アクセス)

¹³ Ministère de l'économie et des finances (2013) Situation économique et financière en 2012 et perspectives 2013, p.35

http://www.dpee.sn/IMG/pdf/situation_economique_et_financiere_2012_et_perspectives_2013.pdf

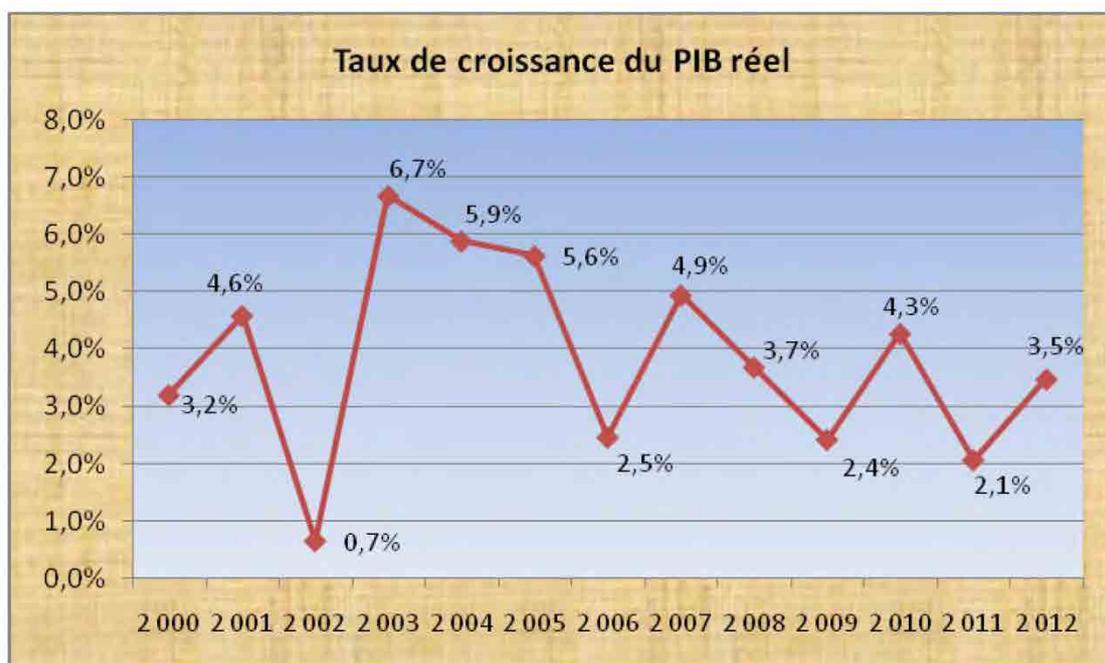
(2014年1月6日アクセス)

¹⁴ Ministère de l'économie et des finances (2013) Situation économique et financière en 2012 et perspectives 2013, p.7

にあることとされた¹⁵。

2011年の世帯調査による様々な貧困関連指標からは、過去5年間においてセネガルの生活水準には若干の改善はみられるものの、大幅な改善は達成されていないと判断されている。たとえば、貧困率については、2005年は48.3%、2011年は46.7%、と改善しているものの、大きな貧困削減には至っていない。さらに、貧困状況は、世帯主の年齢、教育水準、職業などによって大きく異なっている。一般に高齢者が世帯主、教育を受けていない世帯主、農業従事者が世帯主の世帯において貧困率が高くなっている¹⁶。

図表 6 実質 GDP 成長率 (2000年 - 2012年)



(出所) Ministère de l'économie et des finances (2013) Situation économique et financière en 2012 et perspectives 2013, p.7

http://www.dpee.sn/IMG/pdf/situation_economique_et_financiere_2012_et_perspectives_2013.pdf (2014年1月6日アクセス)

¹⁵ République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaire pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.2
http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Country%20Reports/Senegal/Progress_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

¹⁶ République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.112
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.p (2014年1月6日アクセス)

図表 7 セネガルの人口分布 (2011 年)

	ダカール			その他都市			地方			全体		
	人数	男女割合 (%)	地域割合 (%)	人数	男女割合 (%)	地域割合 (%)	人数	男女割合 (%)	地域割合 (%)	人数	男女割合 (%)	地域割合 (%)
男性	1,564,701	49.0	24.3	1,286,902	46.7	20.0	3,591,586	47.0	55.7	6,443,189	47.4	100
女性	1,627,030	51.0	22.8	1,468,256	53.5	20.5	4,052,961	53.0	56.7	7,148,247	52.6	100
全体	3,191,731	100	23.5	2,755,158	100	20.3	7,644,547	100	56.2	13,591,436	100	100

(出所) République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.11

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014 年 1 月 6 日アクセス)

II. セネガルの貧困削減のための政策枠組み

1. 貧困削減戦略・目標の有無と現状

(1) 国家開発計画・戦略の概要と貧困削減の位置づけ

(i) 貧困削減戦略

セネガルでは、第一次貧困削減戦略文書（DSRP）2003 - 2005 がまとめられ、第二次貧困削減戦略文書として、成長と貧困削減戦略（Stratégie pour la croissance et la réduction de la pauvreté）2006 - 2010 が策定された。2011 年には、2011 年から 2015 年間の国家戦略として、経済社会政策文書（Document de politique et économique et sociale : DPES）が策定された。現在の貧困削減戦略文書は、DPESが改訂された国家経済社会開発戦略（Stratégie nationale de développement économique et social : SNDES）¹⁷である。

SNDESでは、人々の福利の改善と社会の需要にインパクトを与えるような富の創出、ガバナンスの強化、戦略的セクターの開発に重点が置かれている。さらに、分野横断的課題として、雇用、ジェンダー、社会保護、持続可能な開発への配慮についても言及されている¹⁸。具体的に、SNDESでは以下の3つの戦略軸が設定されている。

第1 戦略軸：成長、生産性及び富の創出

第2 戦略軸：人的資本、社会保護、持続可能な開発

第3 戦略軸：ガバナンス、組織、平和と安全

SNDESは、セネガルではフルタイムの職業従事者の割合が5人に1人と少ないため、所得貧困に陥る可能性が高くなる、と指摘している¹⁹。また、1994年のFCFA²⁰の切り下げ以降のセネガルの経済成長は、建設・公共事業、テレコミュニケーション、産業、観光、商業によるものであり、人口の半分以上を占める農業については配慮されてこなかったため、地方の零細産業や農業振興が行われず、地方や都市周辺部における貧困が根強く残っていると分析している²¹。

(ii) 経済成長戦略

第二次貧困削減戦略文書やミレニアム開発目標の実現は、より強固で持続した成長によ

¹⁷ République du Sénégal, Stratégie nationale de développement économique et social 2013-2017 http://www.gouv.sn/IMG/pdf/SNDES_2013-2017_-_version_finale_-_08_novembre_2012.pdf（2014年1月6日アクセス）

¹⁸ République du Sénégal, Stratégie nationale de développement économique et social 2013-2017, p.2

¹⁹ République du Sénégal, Stratégie nationale de développement économique et social 2013-2017, p.3

²⁰ 1 FCFA=0.183円（JICA平成25年度4月精算レート参照）

http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul_g/rate.html（2014年1月6日アクセス）

²¹ République du Sénégal, Stratégie nationale de développement économique et social 2013-2017, p.13

つてのみ実現されるという考えから、2008年に経済成長戦略（Stratégie de croissance accélérée : SCA）がまとめられた²²。SCAは、貧困削減戦略文書と不可分と位置づけられ、ミレニアム開発目標やアフリカ開発のための新パートナーシップ（New Partnership for Africa's Development : NEPAD）の目標に沿うものとされ、その目的は富の創出を実現することである。具体的には、SCAは次の3つの方向性に基づいてまとめられている。

- ・ 成長を加速させ、成長率を十分高いレベルに引き上げる（最低7%）
- ・ 貧困削減対策において特に大量の雇用創出を通じて成長をより効率的なものとする
- ・ 外部的なショックから成長を保護しながら、長期的な成長を実現し、成長の源を多様化させる

SCAでは、10年間でGDPを倍増させ、15年間で一人当たりGDPを倍増させることが念頭に置かれている。さらに、SCAでは国際的なレベルのビジネス環境の整備及び経済・社会的にポテンシャルの高い成長クラスターを選定し発展させることを基本軸としている。そのための具体的なクラスターとして、農業及びアグロ・インダストリ、海産物及び水産養殖業、観光・文化産業及び手工業、繊維・衣料、ICT及び電子サービスが指定されている。

以下の5点がSCA実施における課題として挙げられている。

- ・ セネガルを低開発途上国から卒業させ、貧困削減を実施する。特に地方における貧困率を大幅に削減する
- ・ 強固で持続した成長により、今後15年間の間に人々の生活基準を改善する
- ・ 特に若者の就業率を改善する
- ・ 子供の栄養不良を撲滅する
- ・ 教育及び質の高い保健医療へのよりよいアクセスを通して、人々が一層広い見通しがもてるようになる

(iii) 国家保健開発計画

保健分野では、第二次国家保健開発計画（Deuxième Plan National de Développement Sanitaire : PNDS-II）が策定され、妊産婦死亡率及び乳幼児死亡率削減、家族計画、貧困層でも基本的サービスにアクセスできるようにすることが目的とされている。また、保健分野への予算は増加しており、1998年の360億FCFAから、2008年には905億FCFAとなり、2012年には1,105億FFAに達し、政府予算の10.4%を占めている²³。

²² 経済成長加速戦略のウェブサイト：<http://www.sca.sn/>

Loi d'orientation n°2008-03 du 8 janvier 2008, <http://www.jo.gouv.sn/spip.php?article6555>（2014年1月6日アクセス）

²³ ANSD, Enquête démographique et de santé continue au Sénégal (EDS-Continue) 2012-2013, Rapport

(2) 政府による指定貧困地域・集団

(i) 貧困地域

SNDESの中では、明確に貧困地域が指定されていないものの、2011年の調査の結果、コルダ(Kolda)州では貧困率が76.6%、ケドゥグ(Kédougou)州では71.3%、セディウ(Sédhiou)州では68.3%、ファティック(Fatick)州では67.8%、ジガンシオール(Ziguinchor)州では66.8%と貧困率が高い地域が挙げられている。したがって、コルダ州、セディウ州、ジガンシオール州によって構成される南部のカザマンス地方は、セネガルの中で貧困率の高い地域として認識されているといえる²⁴ (図表 8)。

final 1^{ère} année, p.2

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/EDS-continue_2012-2013.pdf

(2014年1月6日アクセス)

²⁴ République du Sénégal, Stratégie nationale de développement économique et social 2013-2017, p.11

http://www.gouv.sn/IMG/pdf/SNDES_2013-2017_-_version_finale_-_08_novembre_2012.pdf (2014年1月6日アクセス)

図表 8 地方別貧困率、貧困ギャップ率（2005 年、2011 年）（再掲）

Tableau 4.3: Mesures de la pauvreté selon la région

Région	ESPS-II -I			ESPS-II -II		
	Incidence de pauvreté	Écart de pauvreté	Sévérité de la pauvreté	Incidence de pauvreté	Écart de pauvreté	Sévérité de la pauvreté
Dakar	27,7	6,6	2,3	26,1	5,8	2,1
Ziguinchor	73,4	29,3	14,4	66,8	26,6	13,5
Diourbel	50,1	14,8	6,3	47,8	13,0	5,1
Saint-Louis	34,9	9,4	3,6	39,5	11,8	4,9
Tambacounda	76,9	34,9	20,4	62,5	21,7	9,9
Kaolack	52,0	15,2	6,2	61,7	19,5	8,1
Thiès	48,4	14,8	6,6	41,3	10,5	4,3
Louga	66,8	24,6	12	26,8	5,7	2,1
Fatick	66,1	22,9	10,9	67,8	21,7	9,5
Kolda	60,9	20,6	9,3	76,6	35,5	20,8
Matam	49,5	14,5	5,9	45,2	14,1	6,4
Kaffrine				63,8	21,2	10,5
Kédougou				71,3	27,4	14,1
Sédhiou				68,3	23,5	11
Ensemble	48,3	15,4	7,0	46,7	14,5	6,6

Source: ESPS-II-I et ESPS-II, ANSD, Dakar, Sénégal.

NB : Les données de pauvreté régionales feront l'objet de recherches approfondies en vue de documenter les tendances observées entre 2005 et 2011.

(注) Incidence de pauvreté : 貧困率、écart de pauvreté : 貧困ギャップ率、sévérité de la pauvreté : 二乗貧困ギャップ率

(出所) République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.30

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

(ii) 貧困集団

SNDES は、明確に貧困集団を指定していないが、所得貧困率が高い集団に言及している。

まず、所得貧困に関して、女性が世帯主の世帯における貧困率は 34.7%であるが、男性が世帯主の場合は 50.6%であり、男性が世帯主の場合に貧困率が高くなることをSNDESは指摘している（「V.社会的属性・特性と貧困との関連の分析」「1. 社会的に排除されているグループの存在と貧困指標との関連」参照）²⁵。

また、SNDESは世帯主の婚姻状況も貧困状況に影響すると言及し、独身者が世帯主の場合は、貧困率は 36.3%である一方で、一夫一妻制の世帯では 46.7%、一夫多妻制の世帯では、貧困率が 50.1%と、一夫多妻制の世帯における貧困率が高いことに言及している²⁶（「V.社会的属性・特性と貧困との関連の分析」「2. その他の要因と貧困との関連」参照）。

²⁵ République du Sénégal, Stratégie nationale de développement économique et social 2013-2017, p.11 http://www.gouv.sn/IMG/pdf/SNDES_2013-2017_-_version_finale_-_08_novembre_2012.pdf (2014年1月6日アクセス)

²⁶ République du Sénégal, Stratégie nationale de développement économique et social 2013-2017, p.11 http://www.gouv.sn/IMG/pdf/SNDES_2013-2017_-_version_finale_-_08_novembre_2012.pdf (2014年1月6日アクセス)

さらに、世帯主を年齢別にみると、60歳以上の世帯主の世帯は多くが貧困状況にある他、国全体の貧困層の38.7%は高齢者である²⁷。国全体の指標からは、60歳以上の世帯主の世帯の貧困率は49.9%であり、約半数は貧困世帯であることが示されている（「V.社会的属性・特性と貧困との関連の分析」「1. 社会的に排除されているグループの存在と貧困指標との関連」参照）。

²⁷ République du Sénégal, Stratégie nationale de développement économique et social 2013-2017, p.11
http://www.gouv.sn/IMG/pdf/SNDES_2013-2017_-_version_finale_-_08_novembre_2012.pdf (2014年1月6日アクセス)

III. 所得貧困による分析

1. 貧困線とデータ

貧困状況を把握するための貧困線 (seuil de pauvreté) は、健康維持に必要なカロリーを摂取するための食糧を購入する金額による食糧貧困線 (seuil de pauvreté alimentaire) と、非食糧貧困線を総合した貧困線 (seuil de pauvreté) から算出される。健康維持に必要なカロリーは、一般に成人一人当たり 1,800 キロカロリーから 3,000 キロカロリーの間に設定され、非食糧貧困線は、世帯における食糧以外の支出から算出される。セネガルで 2011 年に実施された第二次貧困モニタリング調査 (Enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal : ESPS-II) では、食糧貧困線は成人一人当たりが一日 2,400 キロカロリーを摂取するために必要なラインと設定された。具体的には、食糧貧困線は各世帯が消費する食糧の中で最もよく消費された食糧で、世帯の支出の約 80% を占める 26 の食糧から構成されるバスケットを基に算出されている²⁸。ダカールにおける食糧貧困線は 443FCFA、その他の都市部では 419FCFA、地方では 380FCFA であり、ダカールでは高くなっている。非食糧貧困線を加えた貧困線についても、ダカールが最も高く 1,053FCFA、その他都市部では 798FCFA、地方では 598FCFA である。

図表 9 EPSP-II の貧困線 (2011 年)

Tableau 4.2 : Lignes de pauvreté ESPS-II

	Seuils de pauvreté alimentaires			Seuils de pauvreté totaux		
	Dakar	Autre urbain	Rural	Dakar	Autre urbain	Rural
Seuil ESPS-II	443	419	380	1053	798	598

Source: ESPS-II, ANSD, Dakar, Sénégal.

(注) Seuil de pauvreté alimentaire : 食糧貧困線、Seuils de pauvreté totaux : 貧困線

Dakar : ダカール、Autre urbain : その他都市部、Rural : 地方

(出所) République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.27,

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf

(2014 年 1 月 6 日アクセス)

2. 貧困状況・貧困率・貧困ギャップ率・ジニ分析

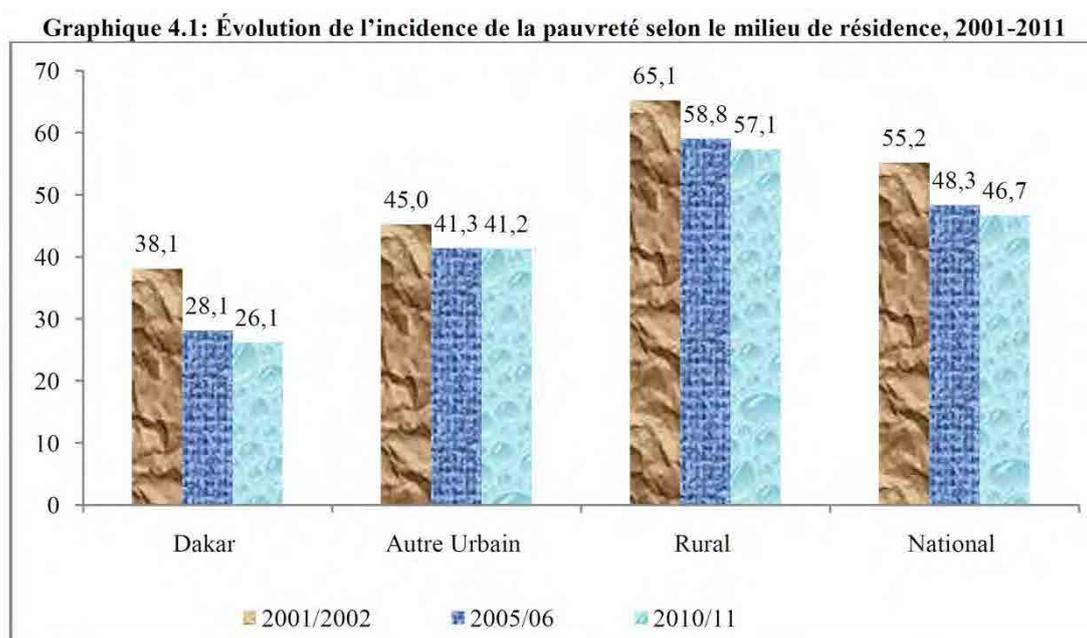
ESPS-II の貧困線に基づく 2011 年のセネガルの貧困率は、国全体で 46.7% である。過去の貧困率は、2001 年/2002 年には 55.2%、2005 年/2006 年には 48.3% であり、貧困率は減少していることが確認できるものの、依然として国民の約半分が貧困層に属している。また、地方の貧困率は 57.1% と都市の 41.2% を大きく上回り、都市と地方の格差の問題があることが分かる。特にダカールの貧困率は 26.1% と低くなっている (図表 10)。地方の貧

²⁸ République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.26, http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014 年 1 月 6 日アクセス)

困率が高い理由としては、生産のためのインフラ、設備、基礎的社会サービス等へのアクセスが都市部より悪いということが理由として指摘されている。

他方で、貧困ギャップ率（Profondeur de pauvreté）や二乗貧困ギャップ率（Sévérité de pauvreté）の観点からは、2011年は2005年と比較すると大きな状況の改善は見られない（図表 11）。

図表 10 貧困率の推移（地方・都市）（2001年/2002年、2005年/2006年、2010年/2011年）



Source: ESAM-II, ESPS-I et ESPS-II, ANSD, Dakar, Sénégal.

(注) Dakar : ダカール、Autre Urbain : その他都市部、Rural : 地方、National : 国全体

(出所) République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.29,

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

図表 11 貧困率・貧困ギャップ率・二乗貧困ギャップ率 (2001年、2005年、2011年)

Tableau 1: Evolution des indicateurs de pauvreté au Sénégal, 2001-2010.

Indicateurs	Dakar	Autre Urbain	Rural	National
Année 2001				
Incidence de pauvreté	38,1	45,2	65,2	55,2
Profondeur de pauvreté	10,2	13,4	21,2	17,3
Sévérité de la pauvreté	3,8	5,5	9,2	7,3
Année 2005				
Incidence de pauvreté	28,1	41,4	59	48,3
Profondeur de pauvreté	6,8	11,6	20,2	15,5
Sévérité de la pauvreté	2,4	4,8	9,5	7
Année 2011				
Incidence de pauvreté	26,2	41,3	57,3	46,7
Profondeur de pauvreté	5,8	13,1	18,7	14,6
Sévérité de la pauvreté	2,1	5,9	8,7	6,6

Source : Enquête de Suivi de la Pauvreté au Sénégal (ESPS-II), ANSD, Dakar, Sénégal.

(注) Incidence de pauvreté : 貧困率、Profondeur de pauvreté : 貧困ギャップ率、 Sévérité de pauvreté : 二乗貧困ギャップ率、Dakar : ダカール、Autre Urbain : その他都市部、Rural : 地方、National : 国全体 (出所) République du Sénégal, Stratégie nationale de développement économique et social 2013-2017, p.10. http://www.gouv.sn/IMG/pdf/SNDES_2013-2017_-_version_finale_-_08_novembre_2012.pdf (2014年1月6日アクセス)

図表 12 地方別貧困率、貧困ギャップ率（2005 年、2011 年）（再掲）

Tableau 4.3: Mesures de la pauvreté selon la région

Région	ESPS-II -I			ESPS-II -II		
	Incidence de pauvreté	Écart de pauvreté	Sévérité de la pauvreté	Incidence de pauvreté	Écart de pauvreté	Sévérité de la pauvreté
Dakar	27,7	6,6	2,3	26,1	5,8	2,1
Ziguinchor	73,4	29,3	14,4	66,8	26,6	13,5
Diourbel	50,1	14,8	6,3	47,8	13,0	5,1
Saint-Louis	34,9	9,4	3,6	39,5	11,8	4,9
Tambacounda	76,9	34,9	20,4	62,5	21,7	9,9
Kaolack	52,0	15,2	6,2	61,7	19,5	8,1
Thiès	48,4	14,8	6,6	41,3	10,5	4,3
Louga	66,8	24,6	12	26,8	5,7	2,1
Fatick	66,1	22,9	10,9	67,8	21,7	9,5
Kolda	60,9	20,6	9,3	76,6	35,5	20,8
Matam	49,5	14,5	5,9	45,2	14,1	6,4
Kaffrine				63,8	21,2	10,5
Kédougou				71,3	27,4	14,1
Sédhiou				68,3	23,5	11
Ensemble	48,3	15,4	7,0	46,7	14,5	6,6

Source: ESPS-II-I et ESPS-II, ANSD, Dakar, Sénégal.

NB : Les données de pauvreté régionales feront l'objet de recherches approfondies en vue de documenter les tendances observées entre 2005 et 2011.

(注) Incidence de pauvreté : 貧困率、écart de pauvreté : 貧困ギャップ率、sévérité de la pauvreté : 二乗貧困ギャップ率

(出所) République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.30

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014 年 1 月 6 日アクセス)

ジニ係数は、世帯で見ると 35.1（2005 年）であり、2001 年調査時より改善している。さらにジニ係数は、世帯、個人ともにダカール及びその他都市部において高く、これらの地域で貧富の格差があることが分かる（図表 13）。

セネガルの状況を他国と比較すると（図表 14）、1992 年から 2007 年の間のセネガルのジニ係数は 39.2 であり、他国や西アフリカ諸国経済共同体（Economic Community of West African States : ECOWAS）、低・中所得サブサハラ諸国（Lower-Middle Income Sub-Saharan African States : LMI-SSA）と比較しても、低位に位置する。したがって、全てのセネガル国民が恩恵を受けるように、持続した経済成長を達成することは依然として課題となっているものの、セネガルにおいて富の分配状況は比較的良好な状況にあるといえる²⁹。

²⁹ Ministry of Economy and Finance of Senegal (2011) Senegal National Competitiveness Report, p.32, <http://www.sca.sn/images/stories/documents/RNCSAnglais.pdf> (2014 年 1 月 6 日アクセス)

図表 13 貧困率・ジニ係数（2001年、2005年）（再掲）

	世帯				個人			
	国全体	ダカール	その他都市部	地方	国全体	ダカール	その他都市部	地方
2001-2002								
貧困率 (%)	48.5	33.3	43.3	57.5	57.1	42.0	50.1	65.2
ジニ係数	37.4	41.9	38.3	29.9	34.2	37.3	35.2	30.1
2005-2006								
貧困率 (%)	42.6	25.3	30.8	55.6	50.8	32.5	38.8	61.9
ジニ係数	35.1	35.3	32.1	31.4	32.0	31.9	28.9	30.2
割合 (%)	100	16.6	13.3	70.1	100	15.4	13.4	71.2

(出所) République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaires pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.a

http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Country%20Reports/Senegal/Progress_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

図表 14 セネガルのジニ係数と各国の比較（1992年 - 2007年）



(出所) Ministry of Economy and Finance of Senegal (2011) Senegal National Competitiveness Report, p.32, <http://www.sca.sn/images/stories/documents/RNCSAnglais.pdf> (2014年1月6日アクセス)

IV. 所得貧困以外による分析

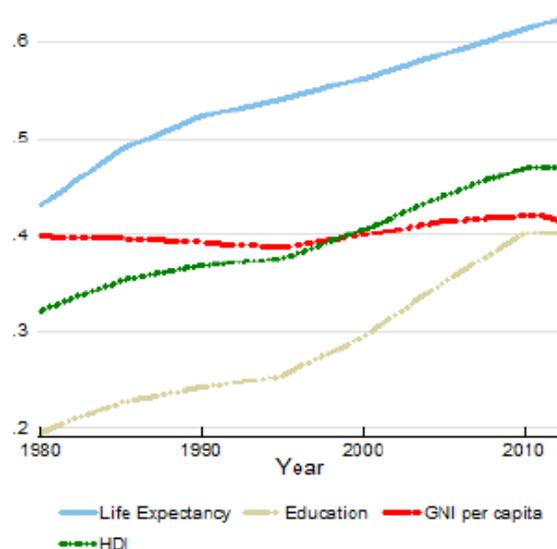
1. 人間開発指数のトレンド、地域・国際比較

2012年のセネガルの人間開発指数（Human Development Index : HDI）は、0.470であり、187か国中154位であり、人間開発の低位国に分類される。サブサハラアフリカ地域におけるHDIは0.475であり、セネガルのHDIは地域平均を下回っているが、人間開発低位国の平均である0.466を上回っている³⁰。

HDIの各指標については、まず出生時平均余命では、1980年には47.3歳であったが、2012年には59.6歳となり、12.3年伸長した。予測就学年数（Expected years of schooling）³¹は、1980年の3.6年から、2012年には4.6年伸びて、8.2年となっている。平均就学年数（Mean years of schooling）³²については、1980年の2.4年から2.1年伸び、2012年には4.5年となった。さらに、一人当たり国民総所得（Gross National Income : GNI）（2005年の米ドル建てPPP換算）は、1980年比で11%増え、2012年は1,653米ドルとなった³³。

図表 15 セネガルの HDI 指標の推移（1980年 - 2012年）

Figure 1: Trends in Senegal's HDI component indices 1980-2012



（出所） UNDP, Explanatory note on 2013 HDR composite indices

<http://hdr.undp.org/sites/default/files/Country-Profiles/SEN.pdf>（2014年1月6日アクセス）

³⁰ UNDP, Explanatory note on 2013 HDR composite indices

<http://hdr.undp.org/sites/default/files/Country-Profiles/SEN.pdf>（2014年1月6日アクセス）

³¹ 予測就学年数とは、現在の各年齢層の就学率がこれから就学する児童の生涯において変わらないものとして、当該児童に見込まれる学校教育の総年数。UNDP (2013) Human Development Report 2013, p.147, http://hdr.undp.org/sites/default/files/reports/14/hdr2013_en_complete.pdf（2014年1月6日アクセス）

³² 平均就学年数とは、25歳以上の国民がそれまでに受けた教育の平均年数。UNDP (2013) Human Development Report 2013, p.147, http://hdr.undp.org/sites/default/files/reports/14/hdr2013_en_complete.pdf（2014年1月6日アクセス）

³³ UNDP, Explanatory note on 2013 HDR composite indices

<http://hdr.undp.org/sites/default/files/Country-Profiles/SEN.pdf>（2014年1月6日アクセス）

サブサハラアフリカ諸国で、2012年のHDIの順位、人口規模の観点からセネガルと同程度の国としては、ルワンダ（167位）、ブルキナファソ（183位）が挙げられる（図表16）。

図表16 セネガルのHDIの地域・国際比較（2012年）

Table B: Senegal's HDI indicators for 2012 relative to selected countries and groups

	HDI value	HDI rank	Life expectancy at birth	Expected years of schooling	Mean years of schooling	GNI per capita (PPP US\$)
Senegal	0.470	154	59.6	8.2	4.5	1,653
Rwanda	0.434	167	55.7	10.9	3.3	1,147
Burkina Faso	0.343	183	55.9	6.9	1.3	1,202
Sub-Saharan Africa	0.475	—	54.9	9.3	4.7	2,010
Low HDI	0.466	—	59.1	8.5	4.2	1,633

（出所）UNDP, Explanatory note on 2013 HDR composite indices

<http://hdr.undp.org/sites/default/files/Country-Profiles/SEN.pdf>（2014年1月6日アクセス）

多次元貧困指数（Multidimensional Poverty Index : MPI）とは、健康、教育、生活水準の面での深刻な貧困の度合いを数値化し、貧困状態にある人数と貧困の程度の両方を考慮に入れた指数である。2010年度のMPIによるとセネガルでは人口の74.4%が多次元貧困の状況にある。図表17によると、セネガルの所得貧困状況にある人口割合は33.5%であり、多次元貧困率を40.9ポイント下回っている。したがって、セネガルには所得貧困では貧困層に分類されないものの、教育、健康やその他の生活条件において欠乏状況にある人が多いことが推定できる。

図表17 セネガルの多次元貧困率と他国との比較（2010年、2010年/2011年）

Table E: The most recent MPI figures for Senegal relative to selected countries

	Survey year	MPI value	Headcount (%)	Intensity of deprivation (%)	Population			Contribution to overall poverty of deprivations in		
					Vulnerable to poverty (%)	In severe poverty (%)	Below income poverty line (%)	Health	Education	Living Standards
Senegal	2010/2011	0.439	74.4	58.9	11.7	50.6	33.5	40.6	31.8	27.6
Rwanda	2010	0.35	69	50.8	19.4	34.7	63.2	30.9	19.5	49.6
Burkina Faso	2010	0.535	84	63.7	7.1	65.7	44.6	27.9	36.2	35.9

（出所）UNDP, Explanatory note on 2013 HDR composite indices

<http://hdr.undp.org/sites/default/files/Country-Profiles/SEN.pdf>（2014年1月6日アクセス）

2. MDGs 達成状況（2005年/2006年、2008年/2009年と目標値の比較）

2010年のセネガル人間開発報告書によると、MDGsで達成見込み（Probable）と評価されている目標は、目標6のHIV/AIDS、マラリア、その他の疾病の蔓延阻止のみである。また、達成可能性がある（potentiel）と評価されている目標も二つのみで、目標2の初等教育の完全普及の達成及び目標7の環境の持続可能性の確保である。その他の目標の達成は、困難（invraisemblable）とされている（図表18）。

図表 18 セネガルにおける MDG の達成見込み

Tableau 1: Progrès des OMD au Sénégal

Niveau d'atteinte	OMD							
	1	2	3	4	5	6	7	8
Probable						X		
Potentiel		X					X	
Invraisemblable	X		X	X	X			X

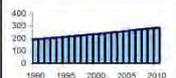
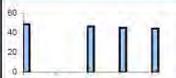
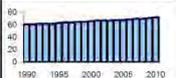
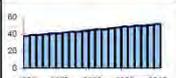
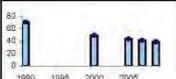
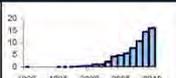
Source : Rapport de suivi de progrès des OMD au Sénégal et Tracking the MDG (MDG Monitor).

(出所) UNDP, Rapport national sur le développement humain, Changement climatique, Sécurité alimentaire et Développement humain, 2010, p.24

http://hdr.undp.org/sites/default/files/rndh_senegal_2010.pdf (2014年1月6日アクセス)

図表 19 セネガルにおける MDG の進捗状況（再掲）

MDG Country Progress Snapshot: Senegal										Last update: Dec. 2012	
Goals and Targets	Indicators	First Year		Latest Year		Country Progress		Region Latest Data: Sub-Saharan Africa			
		Value	Year	Value	Year	Level ^{1/2}	Chart	Value	Year		
Goal 1: Eradicate Extreme Poverty and Hunger											
Reduce extreme poverty by half	Proportion of population living below \$1.25 (PPP) per day (%)	65.8	1991	33.5	2005	very high poverty		47.5	2008		
Reduce hunger by half	Proportion of population below minimum level of dietary energy consumption (%)	21.7	1991	20.5	2011	moderately high hunger		27.0	2008		
Goal 2: Achieve Universal Primary Education											
Universal primary schooling	Net enrolment ratio in primary education (enrollees per 100 children)	56.9	1999	78.0	2010	moderate enrolment		76.2	2010		
Goal 3: Promote Gender Equality and Empower Women											
Equal girls' enrolment in primary school	Ratio of girls to boys in primary education	0.73	1991	1.06	2010	close to parity		0.93	2010		
Women's share of paid employment	Share of women in wage employment in the non-agricultural sector (%)	10.6	2001	low share		32.5	2010		
Women's equal representation in national parliaments	Proportion of seats held by women in national parliament (single or lower house only - %)	12.5	1990	22.7	2012	moderate representation		20.0	2012		
Goal 4: Reduce child mortality											
Reduce mortality of under-five-year-old by two thirds	Under-five mortality rate (deaths of children per 1,000 births)	135.9	1990	64.8	2011	moderate mortality		121			
Goal 5: Improve maternal health											
Reduce maternal mortality by three quarters	Maternal mortality ratio (maternal deaths per 100,000 live births)	670	1990	370	2010	high mortality		500	2010		
Access to universal reproductive health	Contraceptive prevalence rate (percentage of women aged 15-49, married or in union, using contraception)	7.4	1993	13.1	2011	low access to reproductive health		24.6	2010		
	Unmet need for family planning (percentage of women aged 15-49, married or in union, with unmet need for family planning)	28.8	1993	32.0	2005			25.4	2010		

MDG Country Progress Snapshot: Senegal										Last update: Dec. 2012	
Goals and Targets	Indicators		First Year		Latest Year		Country Progress		Region Latest Data: Sub-Saharan Africa		
			Value	Year	Value	Year	Level ^{1/}	Chart	Value	Year	
Goal 6: Combat HIV/AIDS, malaria and other diseases											
Halt and begin to reverse the spread of HIV/AIDS	HIV incidence rate (number of new HIV infections per year per 100 people aged 15-49)		0.10	2001	0.08	2009	intermediate incidence		4.80	2010	
Halt and reverse spread of tuberculosis	Incidence rate and death rate associated with tuberculosis	Number of new cases per 100,000 population	195	1990	288	2010	moderate mortality		276	2010	
		Number of deaths per 100,000 population	40.0	1990	62.0	2010			30	2010	
Goal 7: Ensure environmental sustainability											
Reverse loss of forests	Proportion of land area covered by forest (%)		48.6	1990	44.0	2010	high forest cover		28.1	2010	
Halve proportion without improved drinking water	Proportion of population using an improved drinking water source (%)		61.0	1990	72.0	2010	low coverage		61.0	2010	
Halve proportion without sanitation	Proportion of population using an improved sanitation facility (%)		38.0	1990	52.0	2010	low coverage		30.0	2010	
Improve the lives of slum-dwellers	Proportion of urban population living in slums (%)		70.6	1990	38.8	2009	high proportion of slum-dwellers		61.7	2012	
Goal 8: Develop a global partnership for development											
Internet users	Internet users per 100 inhabitants		0.0	1990	17.5	2011	moderate usage		12.6	2011	
<p>The MDG Country Progress Snapshot provides an overview of the progress achieved at country level since 1990 towards the Millennium Development Goals. The snapshot is intended mainly to provide the international community easy access to the information and are not meant to replace in any way the country profiles produced at the national level in several countries. They are also meant to reflect the contribution of country-level progress to the global and regional trends on progress towards the MDGs.</p> <p>The data used in the snapshot are from the MDG global database (http://mdgs.un.org/unsd/mdg/Data.aspx). The metadata and responsible agencies can be found on http://mdgs.un.org/unsd/mdg/Metadata.aspx. Sources of discrepancies between global and national figures are due to, among others, different methodology and definitions or different choice of data sources. At the global level, the monitoring of the progress aims to ensure better comparability of data among countries. Country can contact the responsible agencies for resolving data discrepancies.</p> <p>Note: 1) The country progress level indicates the present degree of compliance with the target based on the latest available data. The technical note on the progress level can be found at http://mdgs.un.org/unsd/mdg/Resources/Static/Products/Progress2012/technicalnote.pdf</p>											

(出所) Millennium Development Indicators ウェブサイト

<http://mdgs.un.org/unsd/mdg/Resources/Static/Products/Progress2012/Snapshots/SEN.pdf> (2014年1月6日アクセス)

(1) 目標 1：極度の貧困と飢餓の撲滅

2015年までにセネガルは貧困層の人口を半減、すなわち貧困率を34%とすることを目標として設定している。

セネガルの雇用の特徴は、完全失業に加えて、不完全雇用率 (le taux d'occupation) が多

いことである。不完全雇用とは、就業年次に達しており、調査時の前の週に最低 1 時間は労働に従事した者を指す。2002 年から 2011 年の間に、不完全雇用率は 45.4%から 43.8%になっている（図表 20）。

図表 20 失業率、就業率、不完全雇用率の推移（2002 年、2006 年、2011 年）

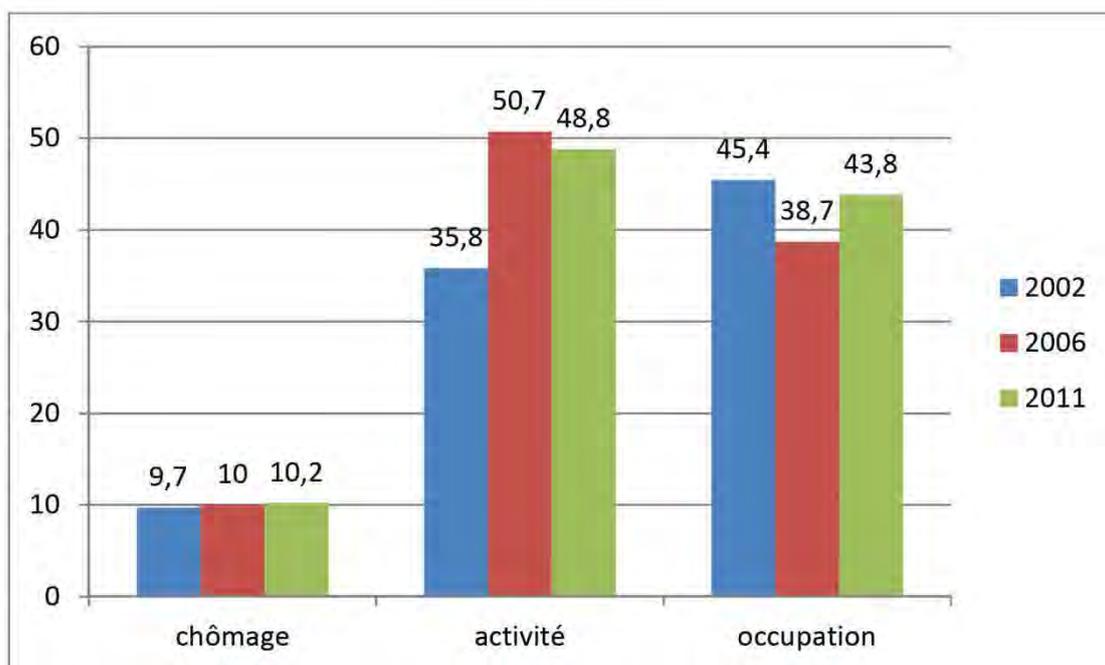


Figure 14 Evolution du chômage de l'activité et de l'occupation (%)

(注) chômage : 失業、activité : 就業、occupation : 不完全雇用

(出所) MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.35

http://www.un.org.sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2014 年 1 月 6 日アクセス)

15 - 24 歳の若年層の失業率は国全体の失業率より高く、2002 年の 13.6%から 2005 年に 14.4%に増加している。また、若年層の失業率は都市と地方では状況が異なり、地方では 2002 年が 12%、2005 年が 10.3%と改善しているが、都市では状況が悪化している。これは経済成長と雇用の創出がうまく連携していないことが、雇用状況が改善しない原因として指摘されている³⁴。2011 年、若者の失業率は国全体で 12.7%まで下がったが、これは政府による若者の雇用対策が実施されたことが背景にあると考えられている³⁵。

³⁴ République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaires pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.5
http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Country%20Reports/Senegal/Progress_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf (2014 年 1 月 6 日アクセス)

³⁵ MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.35
http://www.un.org.sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2014 年 1 月 6 日アクセス)

図表 21 若者の失業率の推移 (2006 年、2011 年)

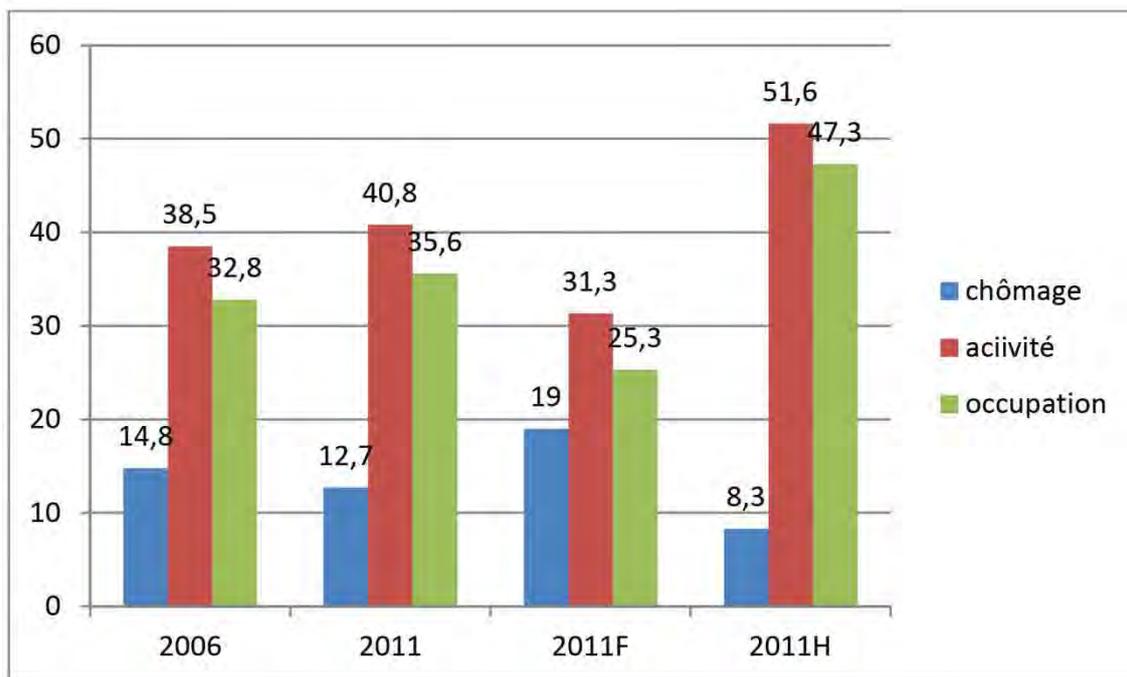


Figure 15 : Evolution du chômage chez les jeunes (%) (ESPS 2)

(注) chômage : 失業、activité : 就業、occupation : 不完全雇用

(出所) MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.35

[http://www.un.org/sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport de Suivi des OMD SEN 2000-2012.pdf](http://www.un.org/sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf) (2014 年 1 月 6 日アクセス)

ターゲット 1.Cの飢餓人口半減について、セネガルにおけるMDGs目標は低体重児の割合を 10%とすることである。政府は栄養強化政策 (Programme de Renforcement de la Nutrition : PRN) を実施し、2009 年には 62 万 9,000 人の子供が栄養状況を確認されたものの、低体重児の割合の減少率は緩やかである³⁶。2011 年には 2009 年時点の割合を若干上回り、18%となっている (図表 22)。

³⁶ République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaires pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.4
http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Country%20Reports/Senegal/Progress_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf (2014 年 1 月 6 日アクセス)

図表 22 5歳未満の低体重児の割合の推移（1992年、2005年、2011年）

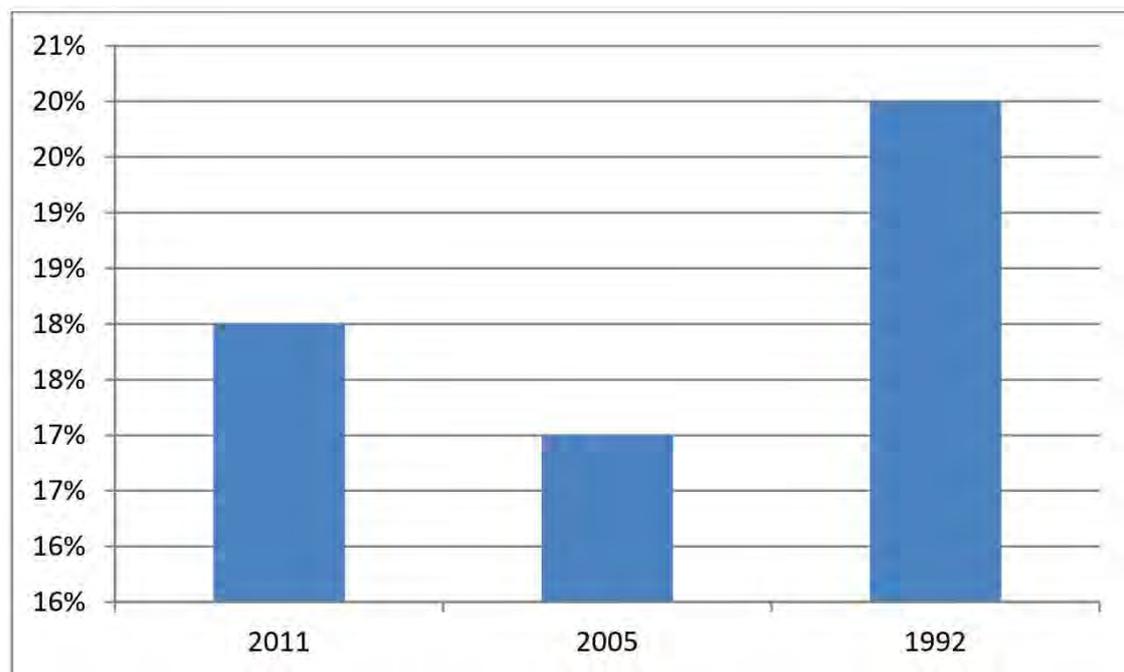


Figure 11 Evolution de l'insuffisance pondérale:

(出所) MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.32

http://www.un.org.sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2014年1月6日アクセス)

(2) 目標 2：初等教育の完全普及の達成

セネガル政府は、2015年までに7歳から12歳の子供の純就学率を90%以上にするという目標を設定している。2002年の初等教育の純就学率は72%であり、2009年には83%を記録した³⁷。

他方で、初等教育の修了率は10人中6人である(2009年)。2000年時点では10人中4人であったことから、修了率は改善傾向にあると判断できるが、2015年の目標である10人中9人の達成は困難な見込みである(図表 23)。改善しない背景としては、留年率及び退学率が高いことが指摘されている。男女別にみると、女子の修了率は2007年の52.9%から、2009年に60.4%と大幅に改善している。男子の修了率は、2007年は57.3%と女子よりも高かったが、2009年は58.7%と女子よりも低くなった³⁸。2011年も修了率の改善傾向は継続し、男子は62.6%、女子は70.8%となっている³⁹。

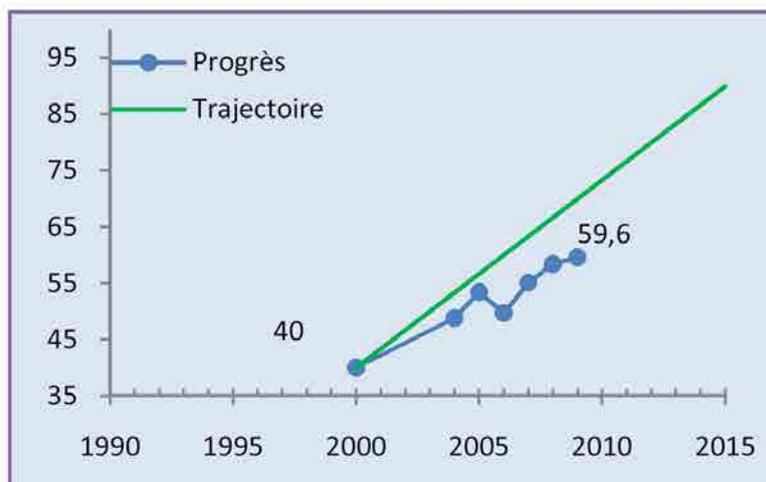
³⁷ République du Sénégal (2010) Objectifs du Millénaire pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.6
http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Country%20Reports/Senegal/Progress_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

³⁸ République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaire pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.6

³⁹ MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.38
http://www.un.org.sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2014年1月6日アクセス)

図表 23 初等教育修了率の推移（2000年 - 2009年）

Figure 5 : Taux d'achèvement au primaire



Source : DPRE, Juin 2010

(注) Progrès : 進捗状況、Trajectoire : (目標達成に向けた最短の) 軌道
 (出所) République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaire pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.6

http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Country%20Reports/Senegal/Progress_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

識字率は、2001年は37.8%と低かったが、2011年には52.1%に改善した（図表 24）。識字率は、ダカールやその他の都市部（Autres villes）が、地方（Milieu rural）より高い。男女別にみると、男性の識字率が66.3%であるのに対して、女性は40.4%にとどまる。男性の識字率が高い傾向は、居住地域に関係なく確認できる。地方の女性の識字率は低く、27.2%である（男性：54.1%）⁴⁰。

月6日アクセス)

⁴⁰ MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.39

http://www.un.org/sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2013年1月6日アクセス)

図表 24 識字率の推移 (2001年 - 2002年、2005年 - 2006年、2010年 - 2011年)

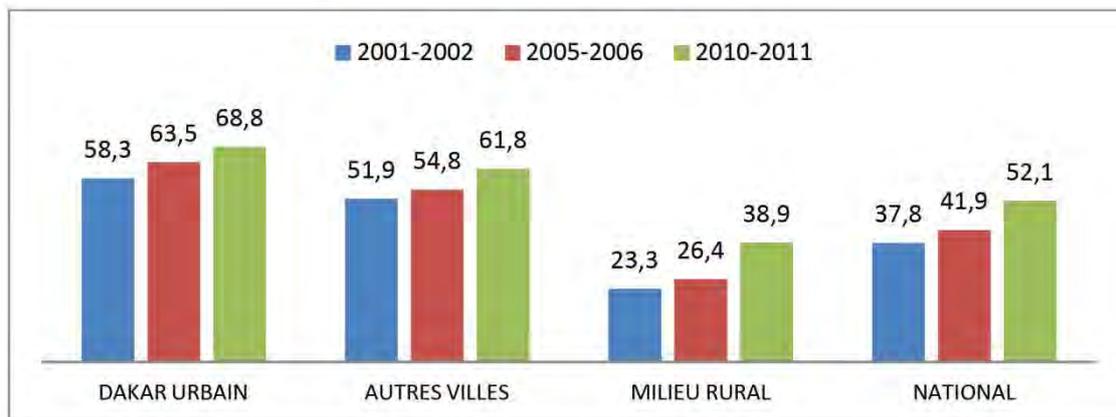


Figure 16 : Taux d'alphabétisation (%) (ESPS 2)

(注) Dakar Urbain : ダカール都市部、Autres villes : その他都市、Milieur Rural : 地方、National : 国全体 (出所) MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.39

http://www.un.org/sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2014年1月6日アクセス)

(3) 目標 3 : 男女平等推進と女性の地位向上

2007年の国会議員選挙により、女性議員の議席数割合は19.2%から22%に増加した。さらに、2010年には選挙において候補者の男女割合に関してクォータ制が導入され、2012年には43%超にまで増加した⁴¹。

教育分野では、2006年時点でセネガルは初等教育における男女平等を達成している。初等教育における女子の男子に対する割合は2000年の0.96から2009年には1.1となり、女子が男子を上回った(図表 25)。しかし、中等教育では女子の数は男子を下回っている。中等学校レベルでは女子の男子に対する割合は0.87、高等学校レベルでは0.72である。また、高等教育では、女子学生が全学生数に占める割合は2007年の34%から、2008年の35.3%まで上昇した⁴²。ただし、地方における格差は残っており、修了率の観点ではセディウ州、コルダ州、ジガンショール州、ケドゥグ州が最も恵まれない地域となっている⁴³。

非農業分野での女性の給与所得者の割合は、2001年/2002年の21.6%から2005年/2006年には26.5%に増加した。地方の女性も、当該期間において7.8%から12.1%に増加した。

セネガルにおいては、水の確保、調理のための薪集め、製粉といった労働は女性の仕事とされている。これらの作業は肉体労働であり、女性を貧困状況に置く原因となっている。

⁴¹ MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.43

http://www.un.org/sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2014年1月6日アクセス)

⁴² République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaires pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.7

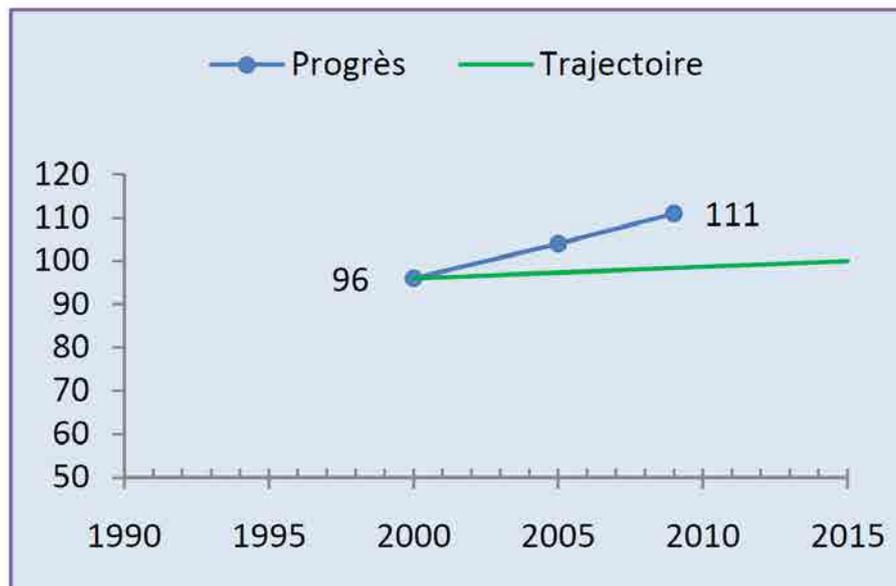
http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Country%20Reports/Senegal/Progress_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

⁴³ MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.41

そのため、エネルギーへのアクセス、十分な調理設備などによって、女性の労働が軽減されるとMDG報告書は指摘している⁴⁴。

図表 25 初等教育における女子の男子に対する割合（2000年、2009年）

Figure 6 : Rapport filles/garçons dans l'enseignement primaire



Source : DPPE, Juin 2010

(注) Progrès : 進捗状況、Trajectoire : (目標達成に向けた最短の) 軌道
 (出所) République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaires pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.8
http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Country%20Reports/Senegal/Progress_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

(4) 目標 4 : 乳幼児死亡率の削減

乳幼児死亡率の目標は、2015年までに5歳児未満の死亡率を、2015年までに1,000出生当たり44とすることである。1997年の死亡率139から、2005年には121、2010年 - 2011年には72まで削減された(図表26)。ダカールでは53、ティエス州では59と国全体の指標を大きく下回る一方で、セディウ州では142、コルダ州では145、ケドゥグ州では154と高い死亡率であり、地域格差が大きい。一方、予防接種率については、都市によって増減はあるものの改善しており、2009年には82%になった⁴⁵。

⁴⁴ République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaires pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.8
http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Country%20Reports/Senegal/Progress_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

⁴⁵ MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.44
http://www.un.org/sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2014年1月)

図表 26 5歳児未満の死亡率の推移（1997年、2005年、2011年）

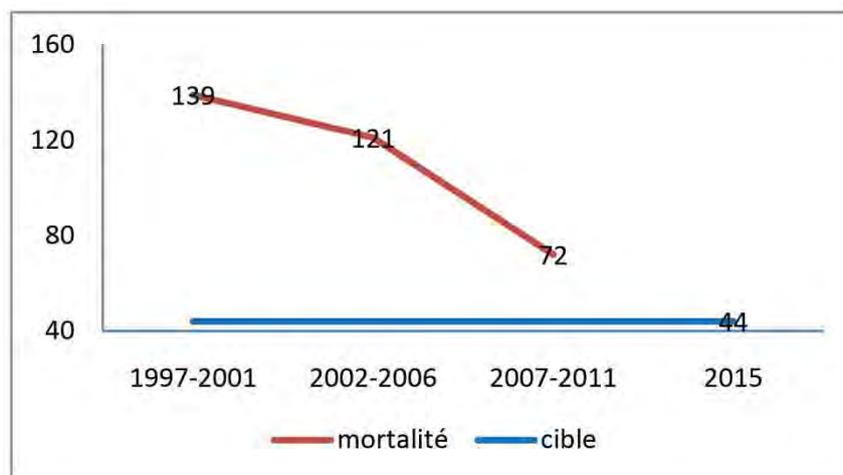


Figure 18 : Taux de mortalité des enfants de moins de 5 ans (pour mille)

(注) mortalité : 死亡率、cible : 目標

(出所) MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.44

http://www.un.org.sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2014年1月6日アクセス)

(5) 目標 5 : 妊産婦の健康の改善

目標 5 は、2015 年までに 10 万出生当たりの妊産婦死亡率 127 が設定されている。1992 年には 510 であったが、2010 年には 392 まで減少した (図表 27)。MDG 報告書では、この改善の理由として、出産や帝王切開の無償化を指摘している⁴⁶。2011 年には妊産婦死亡率は、392 にまで減少したものの、目標達成には及ばない状況である⁴⁷。

また、医療従事者の介助のある出産率は、1997 年には 48.7%であったが、2005 年には 52%、2011 年には 65%となった。しかし、州ごとの格差は残っており、ダカールでは 95%、ティエス州では 85%であるが、南部及び西部では非常に割合が低い (ジガンシヨール州 : 33%、コルダ州 : 33%、セディオウ州 : 35%、ケドゥグ州 : 25%、タンバクンダ州 : 32%)⁴⁸。

6 日アクセス)

⁴⁶ République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaire pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.10
http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Country%20Reports/Senegal/Progress_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

⁴⁷ MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.46
http://www.un.org.sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2014年1月6日アクセス)

⁴⁸ MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, pp.46-47

図表 27 妊産婦死亡率の推移（1992 年、2005 年、2011 年）（10 万出生当たり）

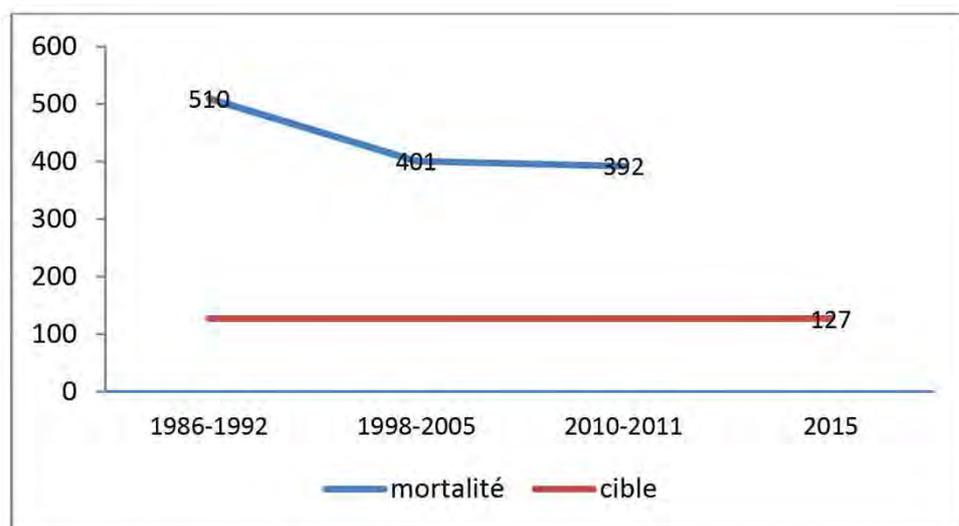


Figure 19 : Taux de mortalité maternelle pour 100 000 naissances vivantes (EDS MICS)

(注) mortalité : 死亡率、cible : 目標

(出所) MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.46

http://www.un.org/sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2014 年 1 月 6 日アクセス)

(6) 目標 6 : HIV/AIDS、マラリア、その他の疾病の蔓延阻止

HIV/AIDSの感染率は2%が目標とされているが、2005年及び2010年の調査では15 - 49歳の男女の感染率は0.7%であった⁴⁹。セネガル政府は、抗レトロウイルス薬（Anti retrovirals : ARV）の価格低下や国家AIDS対策プログラム（Programme national de lutte contre le sida : PNLS）の実施により、感染率2%未満維持に努めている⁵⁰。ただし、AIDS感染率は、2010年の調査では男性が0.5%、女性が0.8%と女性の感染率が高くなっている⁵¹。

マラリアはセネガルにおける主要な死因であるが、マラリアによる死亡率は、殺虫剤塗布の蚊帳（Moustiquaires imprégnées à longue durée d'action）の使用や、治療前のマラリア検査薬の使用などの様々な対策を通して減少してきている（図表 28）。

結核に関しては、国家結核対策プログラム（Programme national de lutte contre la tuberculose）が実施されており、結核による死亡の削減が図られている。

⁴⁹ MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.49

http://www.un.org/sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2014 年 1 月 6 日アクセス)

⁵⁰ République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaire pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.12

http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Country%20Reports/Senegal/Progress_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf (2014 年 1 月 6 日アクセス)

⁵¹ MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.49

http://www.un.org/sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2014 年 1 月 6 日アクセス)

図表 28 マラリアによる死亡の割合の推移

Figure 11 : Taux de prévalence du paludisme (morbidité proportionnelle)



Source : SNIS, juin 2010

(出所) République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaires pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.13

http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Country%20Reports/Senegal/Progress_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

(7) 目標 7 : 環境の持続可能性の確保

セネガルでは、天然資源の維持のため、植林が実施され、2001年の植林面積は1万4,533ヘクタールであったが、2006年以降は年平均で3万ヘクタールの植林が行われている。しかし、MDGの目標は年間5万5,000ヘクタールの植林であり、目標達成にはまだ至っていない。MDG報告書では、森林伐採の割合と植林率との格差は是正されつつあると指摘されている。2001年には、森林伐採と植林とのギャップは4万467ヘクタールであったが、2007年には9,473ヘクタールとなっている。

生物多様性の確保に関するMDGの目標は、2015年までに国の保護地域面積を12%とすることと設定されている。2000年には当該面積は8%であり、2004年には11%となり、大きく改善したが、以降停滞が続いており⁵²、2011年においても割合は同じ11%である⁵³。

⁵² République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaires pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, pp.14-15.
http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Coun%20Reports/Senegal/Progress_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

⁵³ MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.53
http://www.un.org/sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2014年1月6日アクセス)

セネガルでは人口増加による石油消費の増加のために、炭素排出量は増加している。政府は気候変動適応に関する新戦略文書の実施を通して、炭素排出量削減を目指している。

環境の持続性の確保の目標達成について、MDG報告書は、今後より一層の努力が行われた場合、達成は可能との見方を示している⁵⁴。

住居の改善に関して、スラムに居住する人口の削減のために「一家族に一つの屋根 (une famille, un toit)」や「スラムのないセネガルの都市 (Villes du Sénégal sans bidonvilles)」といったプログラムが実施されている。こうしたプログラムの実施の促進や強化が必要とMDG報告書では指摘している⁵⁵。

また、飲料水へのアクセスの目標は都市部で 100%、地方において 82%を目標としている。セネガル政府はミレニアム飲料水・公衆衛生プログラム (Programme eau potable et assainissement pour le millénaire : PEPAM) を実施している。都市部の飲料水へのアクセス率は 1990 年には 62%であったが、2000 年には 81%に改善し、2009 年には 97%となり⁵⁶、2011 年には 98.7%を記録した (図表 29)⁵⁷。都市部においては、達成したと判定されているが、地方についても現在の改善傾向が継続すれば 2015 年までに目標は達成すると分析されている⁵⁸。ただし、全般的にセネガル南部の状況は芳しくない⁵⁹。

⁵⁴ République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaires pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, pp.14-15.
http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Coun%20Reports/Senegal/Progress_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf (2014 年 1 月 6 日アクセス)

⁵⁵ République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaires pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.16

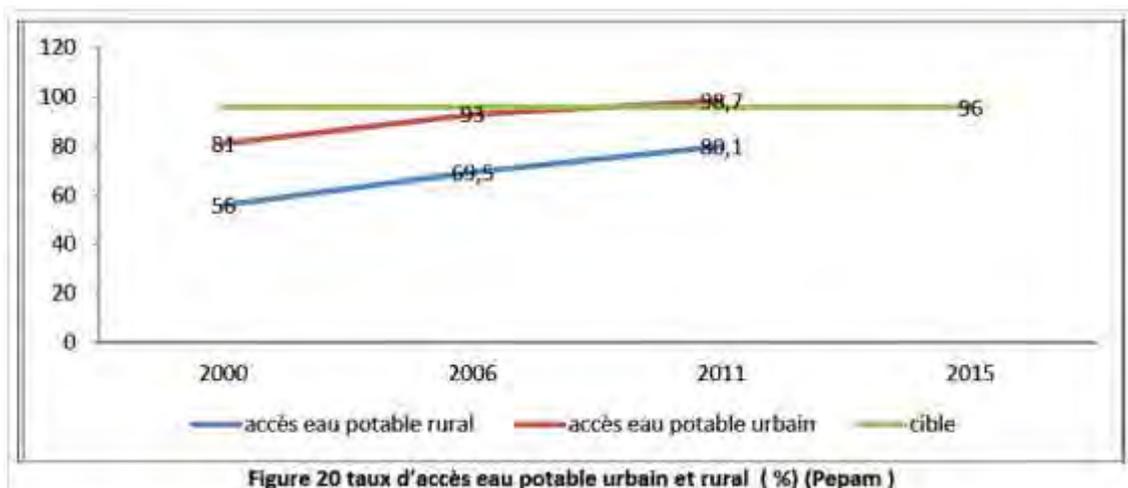
⁵⁶ République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaires pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.16

⁵⁷ MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.53
http://www.un.org.sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2014 年 1 月 6 日アクセス)

⁵⁸ République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaires pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.16

⁵⁹ MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.53

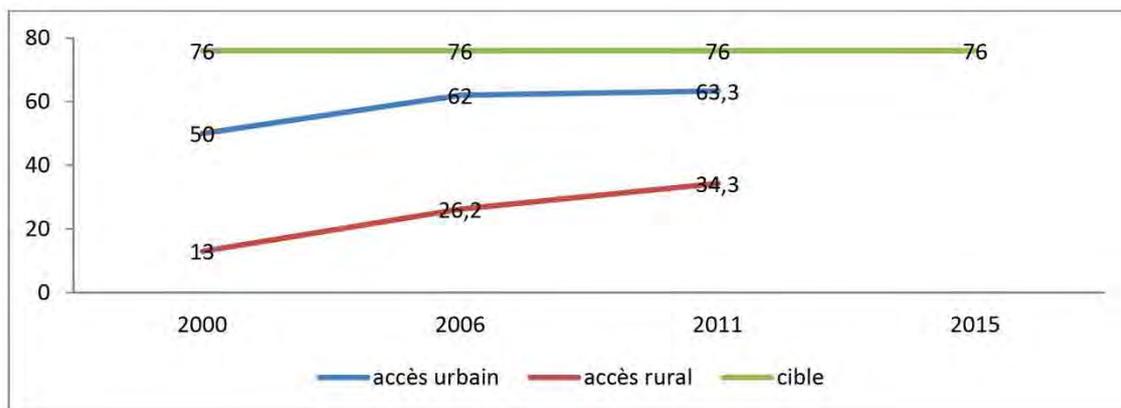
図表 29 地方及び都市部における飲料水へのアクセス（2000年、2006年、2011年）



(出所) MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.54
[http://www.un.org.sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport de Suivi des OMD SEN 2000-2012.pdf](http://www.un.org.sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf) (2014年1月6日アクセス)

改良公衆衛生施設へのアクセスについては、地方においてさらなる努力が必要である。都市部においては、2005年に62%、2011年に63.3%に改善した。他方で、地方では2006年に26.2%、2011年には34.3%と極めて低く目標達成は不可能と評価されている(図表30)⁶⁰。

図表 30 公衆衛生施設へのアクセス（2000年、2006年、2011年）



(出所) MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.55
[http://www.un.org.sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport de Suivi des OMD SEN 2000-2012.pdf](http://www.un.org.sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf) (2014年1月6日アクセス)

⁶⁰ MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.54
[http://www.un.org.sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport de Suivi des OMD SEN 2000-2012.pdf](http://www.un.org.sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf) (2014年1月6日アクセス)

(8) 目標 8 : 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

セネガルは持続可能な発展のために、地域機関やドナー等とのパートナーシップの締結を推進している。地域の取り組みとして、西アフリカ経済通貨同盟 (Union économique et monétaire ouest africaine : UEMOA) や ECOWAS などの地域間協力が挙げられる。債務に関しては、債務削減により、セネガルの公的債務残高が GDP に占める割合は地域内の上限である 70% を大きく下回り、2009 年で 26.6% となっている。

3. 食糧安全保障・脆弱性による分析

2010 年に実施された世界食糧計画 (World Food Programme : WFP) とセネガル政府による調査では、都市部より地方の食糧安全保障が脅かされていると指摘されている。また、特に南部と東部においてこのような世帯が多い (地図 3)。

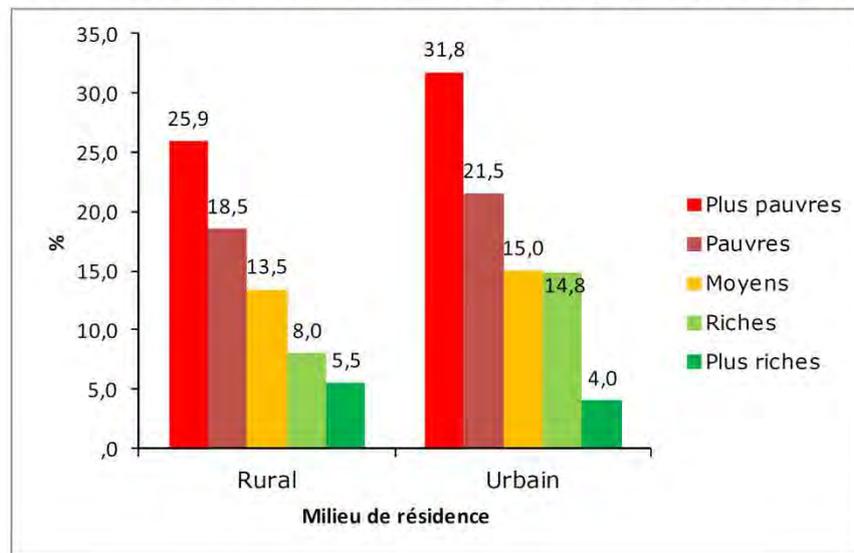
食糧安全保障が脅かされている地方の世帯は、中規模世帯 (10 - 15 人) であり、世帯主の教育レベルが低い。当該世帯は、主に森林資源、支援、インフォーマル商業、畜産などで生計を立てている。他方で、都市の場合は農業、森林資源、日雇い業、支援によって生計を立てている世帯の食糧安全保障状況が脅かされている。さらに、このような世帯の一人当たりの所得は、食糧安全保障が確保できている世帯と比較すると 2 分の 1 となっており、最貧困層を構成している⁶¹。

⁶¹ WFP/PAM(2010) Analyse globale de la vulnérabilité, de la sécurité alimentaire et de la nutrition, p.13, <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp244420.pdf> (2014 年 1 月 6 日アクセス)

地方では、貧困の程度は食糧安全保障の脆弱性と関係し、貧困の程度が深刻であるほど、食糧安全保障が脅かされている状況にある。また、地方では貧困のレベルは有形財産をどのくらい所有しているかによって示される。他方で、都市部においては最貧困層の食糧安全保障脆弱性が極めて高く、他方で最富裕層では食糧安全保障の状況は良好である。さらに、富裕層（14.8%）であっても中間層（15.0%）と食糧安全保障の脆弱制度については大きく変わらず、貧困層（21.5%）と最貧困層（31.8%）は食糧安全保障が極めて脆弱な状況にある⁶³。

図表 31 食糧安全保障と貧困の関係

Figure 38: Insécurité alimentaire et niveau de pauvreté, selon les milieux de résidence



(注) Plus pauvres : 最貧困層、Pauvres : 貧困層、Moyens : 中間層、Riches : 富裕層、Plus riches : 最富裕層

(出所) WFP/PAM (2010) Analyse globale de la vulnérabilité, de la sécurité alimentaire et de la nutrition, p.108 <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp244420.pdf> (2014年1月6日アクセス)

⁶³ WFP/PAM(2010) Analyse globale de la vulnérabilité, de la sécurité alimentaire et de la nutrition, pp.107-108 <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp244420.pdf> (2014年1月6日アクセス)

V. 社会的属性・特性と貧困との関連の分析

1. 社会的に排除されているグループの存在と貧困指標との関連

(1) 女性

男性の失業率は7.7%であるが、女性の失業率は13.3%である⁶⁴。また、女性の多くは非賃金労働に従事していることが特徴として指摘できる。女性が従事している具体的なセクターは、農業、畜産、漁業である。

さらに、男性の識字率が66.3%であるのに対して、女性の識字率は、40.4%にとどまる。特に、地方における女性の識字率は低く、27.2%である（男性：54.1%）⁶⁵。

図表 32 識字率の推移（2001年 - 2002年、2005年 - 2006年、2010年 - 2011年）（再掲）

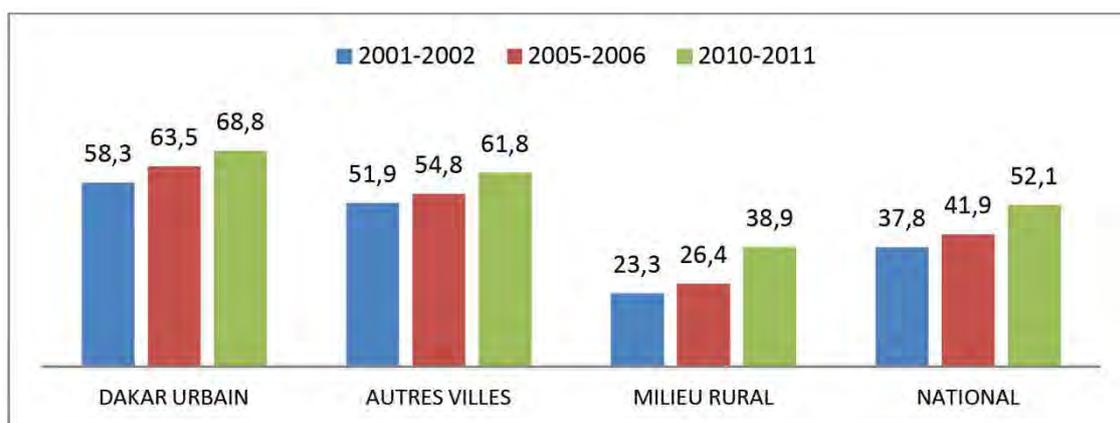


Figure 16 : Taux d'alphabétisation (%) (ESPS 2)

（出所）MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.39,

http://www.un.org/sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf

（2014年1月6日アクセス）

セネガルでは、女性が世帯主である世帯の貧困率は、居住地域に関わらず男性が世帯主である世帯より低く、国全体では男性世帯主の世帯の貧困率が50.6%であるところ、女性世帯主の場合は34.7%である。

⁶⁴ République du Sénégal, Stratégie nationale de développement économique et social 2013-2017, p.3 http://www.gouv.sn/IMG/pdf/SNDES_2013-2017_-_version_finale_-_08_novembre_2012.pdf（2014年1月6日アクセス）

⁶⁵ MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012, p.39（2014年1月6日アクセス）
http://www.un.org/sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf（2014年1月6日アクセス）

図表 33 世帯主の性別及び居住地域別貧困率（2011 年）

性別	貧困率	貧困 ギャップ率	二乗貧困 ギャップ率	割合	貧困層人口
ダカール					
男性	26.6	6.6	2.6	64.6	533,698
女性	25.2	4.3	1.3	35.4	292,210
全体	26.1	5.8	2.1	13.0	825,908
その他都市					
男性	43.5	14.2	6.5	68.5	773,368
女性	37.0	11.2	4.8	31.5	356,386
全体	41.2	13.1	5.9	17.7	1,129,754
地方					
男性	59.9	20.1	9.5	88.6	3,911,147
女性	42.0	10.9	4.2	11.4	500,924
全体	57.1	18.6	8.7	69.3	4,412,071
全体					
男性	50.6	16.4	7.6	81.9	5,218,213
女性	34.7	8.7	3.3	18.1	1,149,520
全体	46.7	14.5	6.6	-	6,367,733

（出所）République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.31

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf （2014年1月6日アクセス）

2011年に発表されたセネガルの貧困状況に関する報告書によると⁶⁶、女性が世帯主の割合は当該調査対象世帯において23.5%であり、ダカールでは女性の世帯主が占める割合が多く40%超、地方では約10%となっている。同調査では、女性が世帯主となっている背景として、女性の経済的自立が進んだこと、一夫多妻制の場合に妻が独自で世帯を構える場合があること、夫の出稼ぎにより女性が世帯主となること等の理由を指摘している。

したがって、単純な比較はできないものの、女性が世帯主の世帯において貧困率が低い理由としては、経済力のある女性が世帯主となっている割合が多いことが推測できる。

(2) 子供

(i) 出生届

セネガルにおいて子供の出生届の提出は家族法典上の義務とされる。しかし、2012年から2013年に実施された人口保健調査（Enquête démographique et de santé : EDS）によると、登録されている子供の割合は73%とされる。また、出生証明書（acte de naissance）を保持している子供は50%であり、出生が登録されているが出生証明書を所有していない

⁶⁶ Abdou Salam Fall, Les dynamiques de la pauvreté au Sénégal: Pauvreté chronique, pauvreté transitoire et vulnérabilités, p.29
http://www.chronicpoverty.org/uploads/publication_files/Pauvrett%C3%A9%20chronique%20Senegal.pdf
 (2014年1月6日アクセス)

子供の割合が多いことが指摘されている。さらに、都市と地方を比較すると、出生証明書を保持している割合は、都市では 63.9%であるが、地方では 42.3%と少ない。また、地域別にみると、中央部と南部に居住する子供が出生証明書を保有している割合は 50%未満である。また、家計の経済状況という観点からは、富裕層の子供ほど出生届が提出され、出生証明書を保持しているという傾向にあり、最も充足度の高い世帯では 94%の子供の出生が登録されているが、最下位の世帯では 46%にとどまる（図表 34）⁶⁷。

図表 34 5歳未満の子供の民事的身分の登録及び出生証明書の所有状況

	出生届が提出されている子供			子供の数
	出生証明書あり	出生証明書なし	提出率	
年齢				
2歳未満	47.7	25.3	73.0	2,500
2歳以上4歳	50.7	22.3	73.0	3,859
性別				
男子	49.8	24.3	74.1	3,172
女子	49.2	22.6	71.9	3,188
居住地域				
都市部	63.9	27.5	91.4	2,129
地方	42.3	21.4	63.7	4,230
地域				
北部	54.5	9.5	64.0	1,287
西部	56.6	30.3	86.9	1,894
中央	46.2	28.9	75.1	1,953
南部	38.6	18.9	57.5	1,225
世帯の経済的充足度				
1.最下位	29.0	17.0	46.0	1,566
2.下位	42.8	23.5	66.3	1,395
3.中位	53.3	28.2	81.4	1,305
4.上位	65.7	24.9	90.6	1,062
5.最上位	68.3	25.8	94.1	1,031
全体	49.5	23.5	73.0	6,360

（注 1）世帯の充足度（bien-être économique des ménages）：住居の状況（電気、水、トイレ、床の状況等）を勘案した 5 分位

（注 2）北部：マタム州、ルーガ州、サン・ルイ州、西部：ダカール州、ティエス州、中央部：ジュルベル州、ファティック州、カオラック州、カフリン州、南部：タンバクンダ州、コルダ州、ケドゥグ州、セディウ州、ジガンシヨール州

（出所）Agence Nationale de la Statistique et de la Démographie (ANSD) et ICF International, Enquête démographique et de santé continue au Sénégal (EDS-Continue 2012-2013), Rapport final 1^{ère} année, p.20,

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/EDS-continue_2012-2013.pdf

（2014 年 1 月 6 日アクセス）

⁶⁷ Agence Nationale de la Statistique et de la Démographie (ANSD) et ICF International, Enquête démographique et de santé continue au Sénégal (EDS-Continue 2012-2013), Rapport final 1^{ère} année, pp.19-20

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/EDS-continue_2012-2013.pdf

（2014 年 1 月 6 日アクセス）

(ii) 子供の労働と教育

5歳から14歳の子供の労働と教育状況は、性別、居住地域、通学状況と、母親の教育程度によって異なっている。男子（19%）は女子（10%）よりも労働に従事している割合が大きく、さらに地方における子供の労働割合は都市部よりも高くなっている。加えて、母親の教育程度が上がるにつれて、子供の労働している割合が少なくなり、通学している割合が増加している。また、地域では中央部と南部における児童労働の割合が高い（図表 35）。

図表 35 子供の労働と教育状況

	5 - 14 歳の子供総数			5 - 14 歳の労働している子供		5 - 14 歳の通学している子供	
	労働している割合	通学している割合	人数	通学している割合	人数	労働している割合	人数
年齢							
5 - 11 歳	13.9	46.1	7,544	40.0	1,046	12.0	3,481
12 - 14 歳	16.4	67.8	2,620	41.2	431	10.0	1,776
性別							
男子	19.0	50.5	5,115	38.7	971	14.6	2,581
女子	10.0	53.0	5,050	43.5	506	8.2	2,676
居住地域							
都市部	5.1	67.1	3,665	69.6	188	5.3	2,458
地方	19.8	43.1	6,500	36.1	1,289	16.6	2,798
地域							
北部	12.1	52.7	2,024	28.5	245	6.5	1,067
西部	11.3	61.9	3,222	59.3	364	10.8	1,993
中央	18.2	37.2	2,826	28.1	514	13.7	1,052
南部	16.9	54.7	2,092	47.0	355	14.6	1,144
母親の教育程度							
無教育	16.3	45.5	6,309	36.5	1,029	13.1	2,870
初等教育	10.7	66.4	1,326	59.0	141	9.5	881
中等教育以上	1.3	79.1	508	-	6	1.6	402
世帯の経済的充足度							
1.最下位	29.7	37.2	2,279	27.2	678	21.7	849
2.下位	18.8	44.2	2,236	46.8	420	19.9	988
3.中位	8.8	50.9	2,077	46.1	182	7.9	1,057
4.上位	6.3	61.2	1,964	57.5	125	6.0	1,202
5.最上位	4.5	72.2	1,608	(81.8)	73	5.1	1,161
全体	14.5	51.7	10,165	40.4	1,477	11.3	5,257

(注 1) 世帯の充足度 (bien-être économique des ménages) : 住居の状況 (電気、水、トイレ、床の状況等) を勘案した 5 分位

(注 2) 北部 : マタム州、ルーガ州、サン・ルイ州、西部 : ダカール州、ティエス州、中央部 : ジュルベル州、ファティック州、カオラック州、カフリン州、南部 : タンバクンダ州、コルダ州、ケドゥグ州、セディウ州、ジガンシヨール州

(注 3) 括弧内の数字は加重値ではない。

(出所) Agence Nationale de la Statistique et de la Démographie (ANSD) et ICF International, Enquête démographique et de santé continue au Sénégal (EDS-Continue 2012-2013), Rapport final 1^{ère} année, p.26,

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/EDS-continue_2012-2013.pdf

(2014 年 1 月 6 日アクセス)

(3) 高齢者

高齢者が世帯主である場合は、その世帯は貧困状況にあることが多い。この傾向は地方においてはより厳しく、地方では60歳以上世帯主の世帯の貧困率は、62.4%にのぼる（図表 36）。この結果からセネガルにおいては高齢者の社会保護が課題であると指摘されている⁶⁸。

図表 36 世帯主の年齢及び居住地域別貧困率（2011年）

年齢	貧困率	貧困 ギャップ率	二乗貧困 ギャップ率	割合	貧困層人口
ダカール					
35歳未満	12.9	3.7	1.6	3.4	26,670
35歳 - 59歳	23.3	5.7	2.6	44.8	348,744
60歳以上	29.7	5.7	1.6	51.8	403,533
全体	25.4	5.6	2.1	-	778,947
その他都市					
35歳未満	40.0	14.8	7.5	6.7	74,897
35歳-59歳	38.1	12.1	5.3	49.8	554,269
60歳以上	45.9	14.1	6.3	43.4	483,280
全体	41.3	13.1	5.8	-	1,112,446
地方					
35歳未満	51.1	14.8	6.4	8.2	356,480
35歳 - 59歳	55.2	18.9	9.0	55.3	2,391,247
60歳以上	62.4	19.3	8.7	36.5	1,576,490
全体	57.2	18.7	8.7	-	4,324,217
全体					
35歳未満	45.9	14.0	6.0	2.9	186,730
35歳 - 59歳	44.9	14.6	6.8	58.4	3,717,700
60歳以上	49.9	14.5	6.2	38.7	2,463,303
全体	46.7	14.5	6.6	-	6,367,733

（出所）République du Sénégal, Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, Mai 2013, p.33

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf（2014年1月6日アクセス）

また、年齢が上がるにつれ、識字率は下降する傾向にあり、高齢者の識字率が低い（図表 37）。識字率は、どの年代においても男性の方が女性よりも高いが、その傾向は特に高齢者において顕著であり、高齢女性の識字率は著しく低く、60代では13.6%、70代では5.3%、80代では5.3%、90代では1.5%である。

⁶⁸ République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, pp.32-33.
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf（2014年1月6日アクセス）

図表 37 性別・年齢別識字率

Tableau 6.3: Taux Alphabétisation selon le sexe et l'âge

Classe d'âge	Masculin	Féminin	Ensemble
15-19	77,1	66,1	71,4
20-29	67,5	47,3	56,1
30-39	67,3	37,6	50,2
40-49	64,6	30,3	44,9
50-59	63,2	26,9	43,7
60-69	55,1	13,6	32,7
70-79	41,9	6,6	23,6
80-89	36,4	5,3	19,7
90 et plus	38,2	1,5	20,3
Ensemble	66,3	40,4	52,1

Source: ESPS-II-II 2011, ANSD, Sénégal.

(注) Classe d'âge : 年齢層、Masculin : 男性、Féminin : 女性、Ensemble : 全体

(出所) République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.48

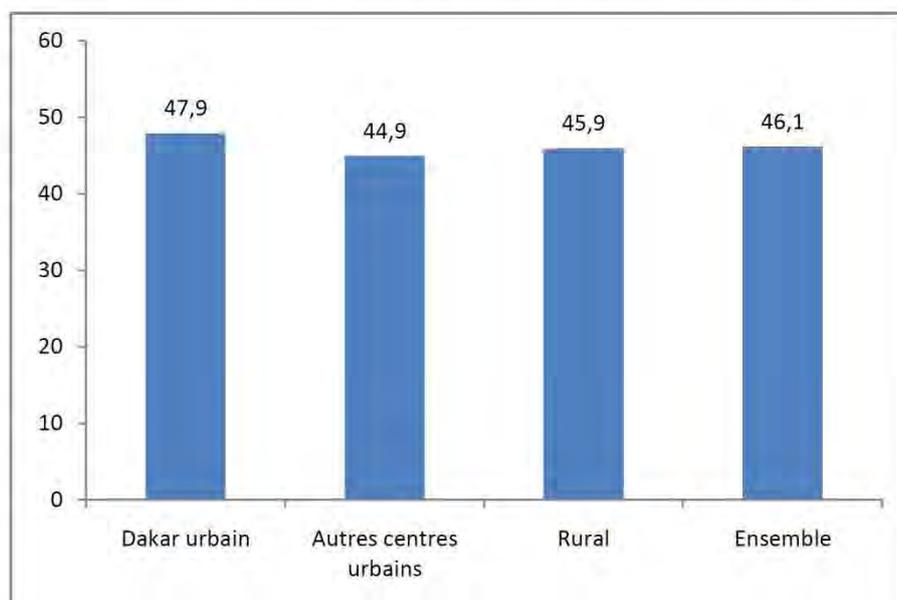
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

(4) 障がい者

ESPS-II では、セネガルにおける障がい者の割合は、ダカールで 2.8%、その他都市部では 3.9%、地方においては 3.5%であり、国全体では 3.4%であった。障がいがあるために、就業や通学ができない人の割合は、国全体で 46.1%に上っている (図表 38)。

図表 38 障がいのために就業・学習ができない人の割合（地域別・2011年）

Graphique 7.5 : Pourcentage d'individus (vivant avec un handicap) dont le handicap empêche d'avoir une activité soutenue ou de suivre une scolarité normale selon le milieu de résidence



Source: ESPS-II, ANSD, Dakar, Sénégal.

(出所) République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.59

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

2. その他の要因と貧困との関連

(1) 婚姻状況

世帯主の婚姻状況と居住地により、貧困率は異なるが、国全体でみると一夫多妻制の世帯における貧困率は、50.1%といずれの項目の中でも最も貧困率が高い。

ダカールにおいては寡婦・寡夫の世帯の貧困率は31.2%であり、一夫多妻制世帯主世帯の24%、一夫一婦制世帯主世帯の26.8%を上回る貧困率となっている。また、ダカールの離婚世帯主の世帯の貧困率は、10.5%と非常に低い割合であるが、その他の都市部では55.7%、地方では53.8%と高い値となっている。地方における離婚世帯主世帯の貧困ギャップ率は、22.2%と高い割合である。

図表 39 世帯主の婚姻状況及び居住地別の貧困率（2011年）

婚姻状況	貧困率	貧困 ギャップ率	二乗貧困 ギャップ率	割合	貧困層人口
ダカール					
一夫一婦制	26.8	6.7	2.9	48.4	399,833
一夫多妻制	24.0	5.3	1.6	24.4	201,400
独身	16.5	5.8	2.9	1.3	10,822
寡夫・寡婦	31.2	4.2	0.9	24.3	200,497
離婚者	10.5	5.6	3.0	1.6	13,356
全体	26.1	5.8	2.1	-	825,908
その他都市					
一夫一婦制	40.6	13.2	6.1	46.3	523,348
一夫多妻制	39.1	12.0	5.0	31.5	356,267
独身	39.0	17.0	9.6	1.8	20,474
寡夫・寡婦	44.7	14.1	6.6	15.7	177,741
離婚者	55.7	16.8	6.3	4.6	51,924
全体	41.2	13.1	5.9	-	1,129,754
地方					
一夫一婦制	56.8	17.8	8.2	47.5	2,095,477
一夫多妻制	59.2	19.8	9.3	46.7	2,062,386
独身	49.4	15.9	7.4	1.0	43,605
寡夫・寡婦	44.4	16.1	7.9	4.4	195,966
離婚者	53.8	22.2	11.0	0.3	14,637
全体	57.1	18.6	8.7	-	4,412,071
全体					
一夫一婦制	46.7	14.3	6.5	47.4	3,018,658
一夫多妻制	50.1	16.1	7.3	41.1	2,620,053
独身	36.3	13.0	6.5	1.2	74,901
寡夫・寡婦	38.8	10.4	4.5	9.0	574,204
離婚者	32.2	11.6	5.1	1.3	79,917
全体	46.7	14.5	6.6	-	6,367,733

(出所) République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, pp.31-32

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

VI. 貧困層・社会的弱者に影響を与えている短期的・長期的要因、リスクとショック

1. 気候変動

西アフリカ地域で確認されている主な気候変動現象には、温度上昇、降雨量の変化、海面の上昇、頻発する極端な気候現象が挙げられる。セネガルで確認されている変動現象をみると（図表 40）、ダカールやその他都市部よりも、地方において影響が感じられていることが分かる。大気汚染、漁獲高の減少、海面上昇、海岸線の進行については比較的割合が少ないが、植物に有害な昆虫の増殖や動物の疫病の蔓延、土地の荒廃は 70%を超える人々が変化を認識し、大きな問題になっている。同様に、森林伐採、安定しない農業生産、土壌侵食を変化として指摘した割合も 60%を超えている⁶⁹。

図表 40 過去 5 年間に居住区に大きな影響を与えた変化

変化	ダカール	その他都市部	地方	総計
山火事 (Feux de brousse)	1.5	17.2	51.6	27.4
森林伐採 (Déforestation, moins d'arbres)	14.9	32.2	67.5	42.3
安定しない農業生産 (Production agricole plus souvent erratique)	6.1	33.1	65.8	38.7
漁獲高の減少 (Baisse de la production halieutique)	46.7	42.7	39.0	42.4
大気汚染 (Air plus pollué)	54.0	42.1	30.1	40.8
水路・川・湖の汚染 (Cours d'eau, rivières, lacs pollués)	6.6	22.8	31.7	21.2
水路・川・湖の水位の低下 (Baisse du niveau des cours d'eau, rivières, lacs)	4.3	18.2	37.0	21.9
より乾燥した土地 (Sol plus sec)	7.4	32.0	61.9	37.1
土地の荒廃 (Sol moins fertile)	8.3	36.4	70.9	42.3
土壌侵食の進行 (Plus d'érosion des sols que par le passé)	8.5	32.8	61.7	37.5
植物に有害な昆虫の増殖 (Plus d'insectes nuisibles sur les plantes que par le passé)	8.2	36.1	73.5	43.4
動物の疫病の蔓延 (Plus de maladies qui affectent les animaux que par le passé)	6.2	33.0	80.5	45.2
海岸線の進行 (Avancées de la mer)	19.6	15.6	14.4	16.5
耕作地への洪水 (Inondations des surfaces cultivables)	7.1	19.8	32.2	21.0
雨季以外の雨 (Pluies hors saison)	2.7	12.5	32.4	18.2

(出所) République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.108

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

⁶⁹ République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.107
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

2. 出稼ぎと送金

(1) 出稼ぎ

セネガルでは出稼ぎが頻繁に行われ、世界食糧計画（World Food Programme : WFP）の調査によると調査対象世帯の中で地方では平均 1.7 人、都市部世帯では平均 0.6 人が出稼ぎ労働に従事している⁷⁰。

出稼ぎ労働に限らず、まず広く「移住（migration）」という観点からみると、都市部、地方であるかによって、主要な移住先は異なるが、地方に居住する世帯の場合はダカールへの移住が多いことが分かる。一方、都市部世帯の場合は、欧州または北米への移住が最も大きな割合を占めている（図表 41）。

図表 41 主要な出稼ぎ先（都市・地方別）

	ダカール	地方 中心都市	その他 都市部	地方	アフリカ 諸国	欧州・北米
地方世帯	37%	19%	14%	6%	13%	11%
都市部世帯	19%	7%	3%	0%	25%	46%

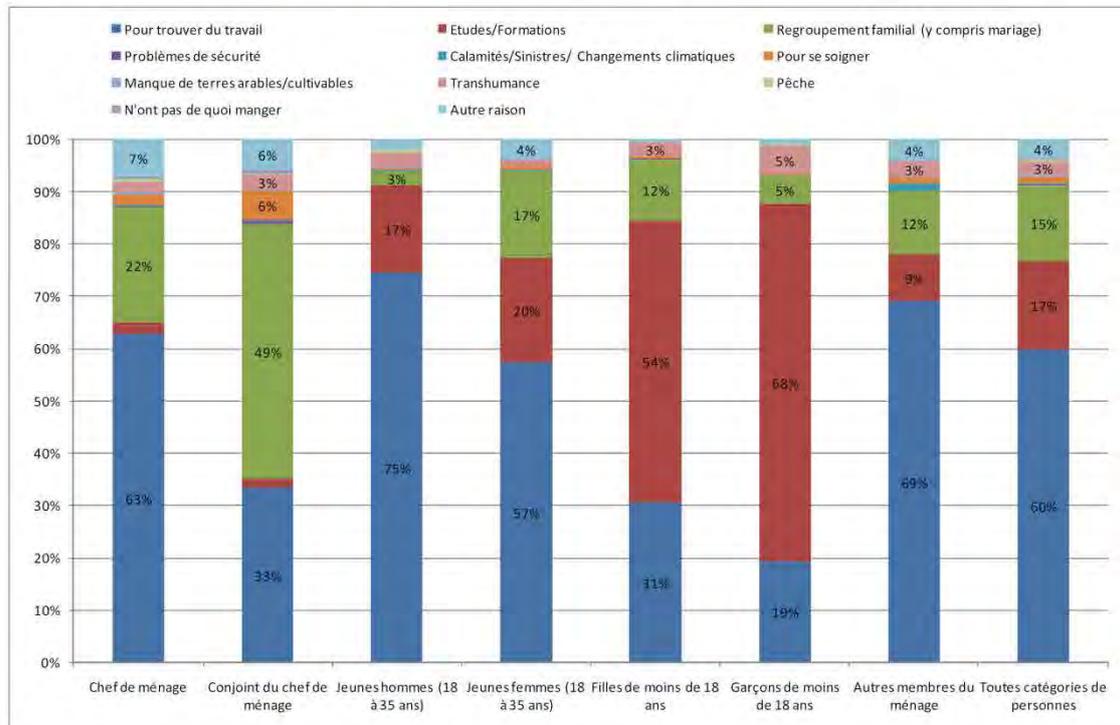
（出所）WFP/PAM (2010) Analyse globale de la vulnérabilité, de la sécurité alimentaire et de la nutrition, p.52, <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp244420.pdf>（2014年1月6日アクセス）

移住する理由としては、男性の場合は主に稼ぎをするためであるが、女性の移住の理由は家族呼び寄せに伴う移住であることが多い。18歳未満の場合には、男女ともに勉学や研修の理由による移動が多い（図表 42）。

⁷⁰ WFP/PAM(2010) Analyse globale de la vulnérabilité, de la sécurité alimentaire et de la nutrition, p.52, <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp244420.pdf>（2014年1月6日アクセス）

図表 42 移住の理由

Figure 66: Raisons principales guidant les migrations selon les membres du ménage



(注) Pour trouver du travail : 仕事を見つけるため、Etudes/Formations : 学問・研修、Regroupement Familial(y compris mariage) : 家族呼び寄せ (結婚を含む)、Problème de sécurité : 安全上の問題、Calamités/Sinistres/Changements climatiques : 災害・気候変、Pour se soigner : 治療のため、Manque de terres arables/cultivables : 耕作地の不足、Transhumance : 移牧、Pêche : 漁業、N'ont pas de quoi manger : 食糧の欠乏、Autre raison : その他

Chef de ménage : 世帯主、Conjoint du chef de ménage : 世帯主の配偶者、Jeunes hommes (18 à 35 ans) : 18 - 35 歳男性、Jeunes femmes(18 à 35 ans) : 18 - 35 歳女性、Filles de moins de 18 ans : 18 歳未満女性、Garçons de moins de 18 ans : 18 歳未満男性、Autres membres du ménage : その他の世帯構成員、Toutes catégories de personnes : 全体

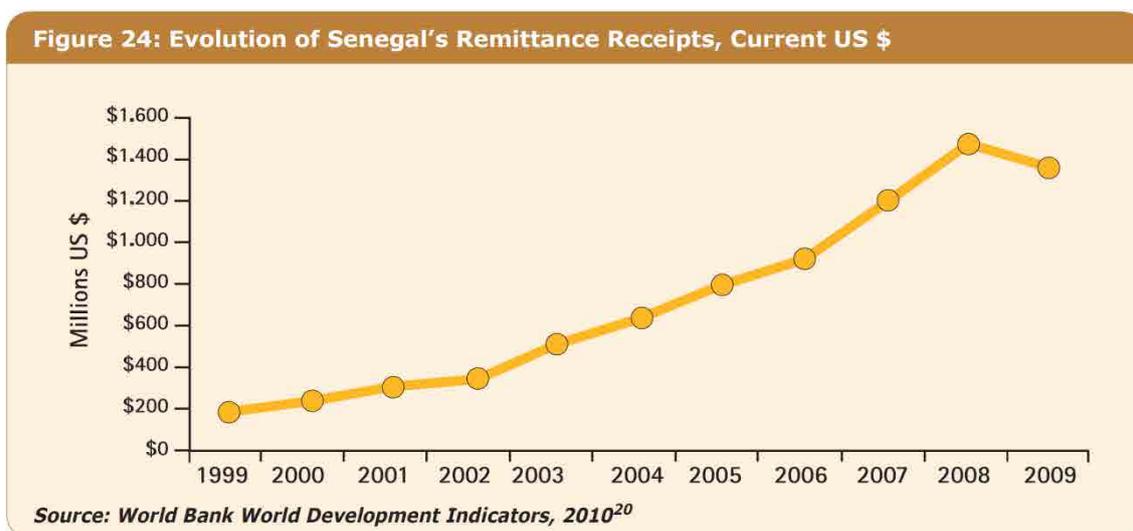
(出所) WFP/PAM (2010)Analyse globale de la vulnérabilité, de la sécurité alimentaire et de la nutrition, p.165, <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp244420.pdf> (2014 年 1 月 6 日アクセス)

(2) 送金

セネガル経済に占める送金は 1999 年から 2009 年の間に約 5 倍増加し (図表 43)、経常収支の赤字を埋める役割を果たし、送金額は GDP の 10%、輸出の 40% に近い額である⁷¹。

⁷¹ Ministry of Economy and Finance of Senegal (2011) Senegal National Competitiveness Report, pp.43-44, <http://www.sca.sn/images/stories/documents/RNCSAnglais.pdf> (2014 年 1 月 6 日アクセス)

図表 43 セネガルにおける送金額の推移（1999年 - 2009年）



(出所) Ministry of Economy and Finance of Senegal (2011) Senegal National Competitiveness Report, p.44, <http://www.sca.sn/images/stories/documents/RNCSAnglais.pdf> (2014年1月6日アクセス)

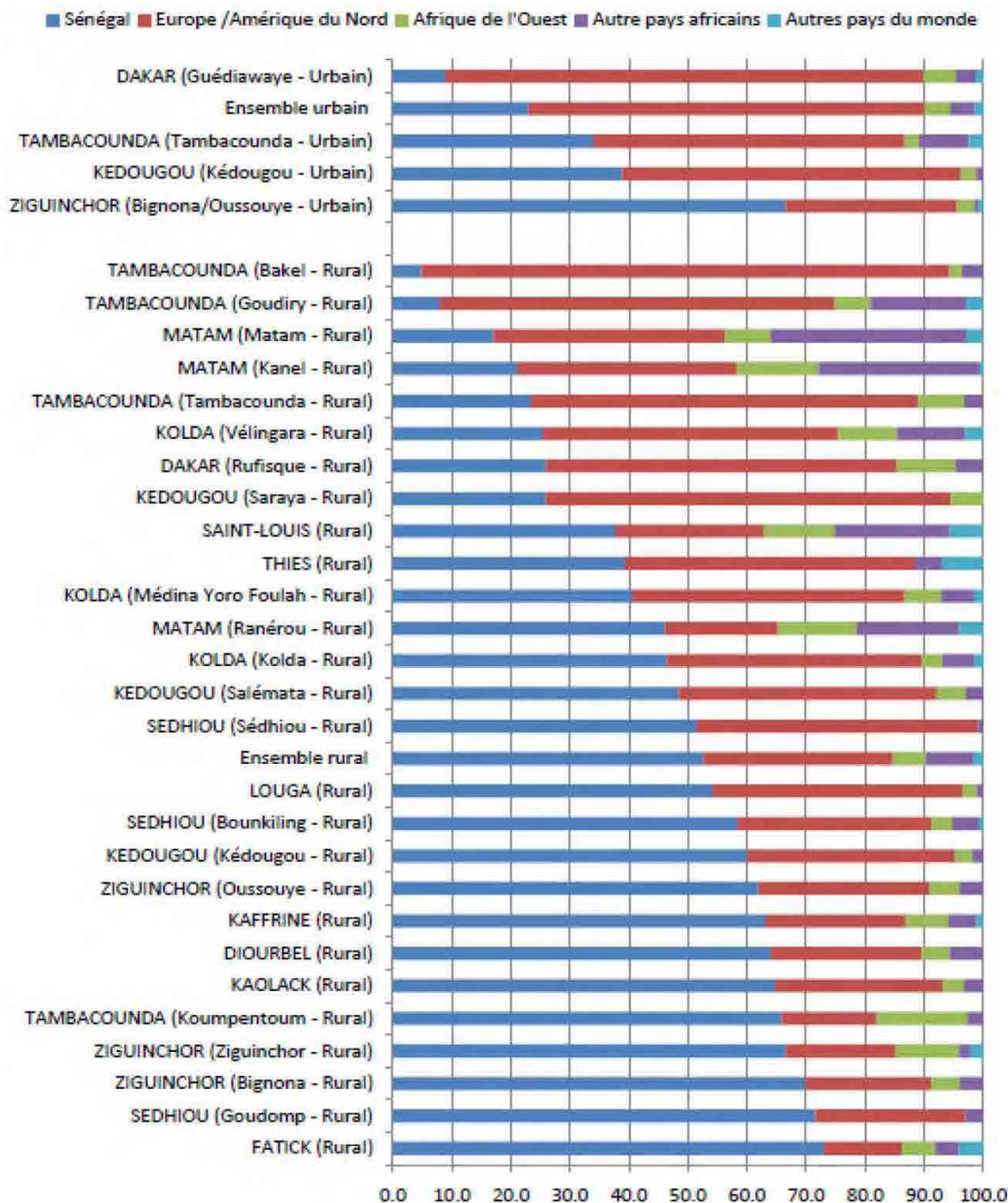
都市部や地方、さらに職業等に関わらず、セネガルの世帯にとって送金は重要な収入源である。世帯の月平均の送金による収入は5万7,077FCFAであり、都市世帯の平均は9万6,790FCFA、地方世帯の平均は5万2,851FCFAと、都市世帯の方が送金による収入が多い。また、送金元の国は、ほぼ欧州やアメリカである(図表 44)。地方の世帯では、送金の23%はセネガル国内から、77%は欧州等その他の地域であり、セネガル国内からの送金の割合は少なく、海外からの送金が多い構成となっている。一方、都市部の世帯の場合、セネガル国内からは53%、欧州及びその他の国からは47%であり、セネガル国内からの送金の割合がわずかではあるが、国外からの送金より多くなっている⁷²。

送金が世帯の収入に占める割合は、国全体では38%であり、都市部と地方を比較しても、大きな差はない(都市部:40%、地方:38%)。県別にみると、送金が収入に占める割合は大きく異なり、マタム州のカネル(Kanel)県、マタム(Matam)県、タンバクンダ州のバケル(Bakel)県において送金の所得に占める割合が大きい(図表 45)⁷³。

⁷² WFP/PAM(2010) Analyse globale de la vulnérabilité, de la sécurité alimentaire et de la nutrition, pp.83-84, <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp244420.pdf> (2014年1月6日アクセス)

⁷³ WFP/PAM(2010) Analyse globale de la vulnérabilité, de la sécurité alimentaire et de la nutrition, p.83, <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp244420.pdf> (2014年1月6日アクセス)

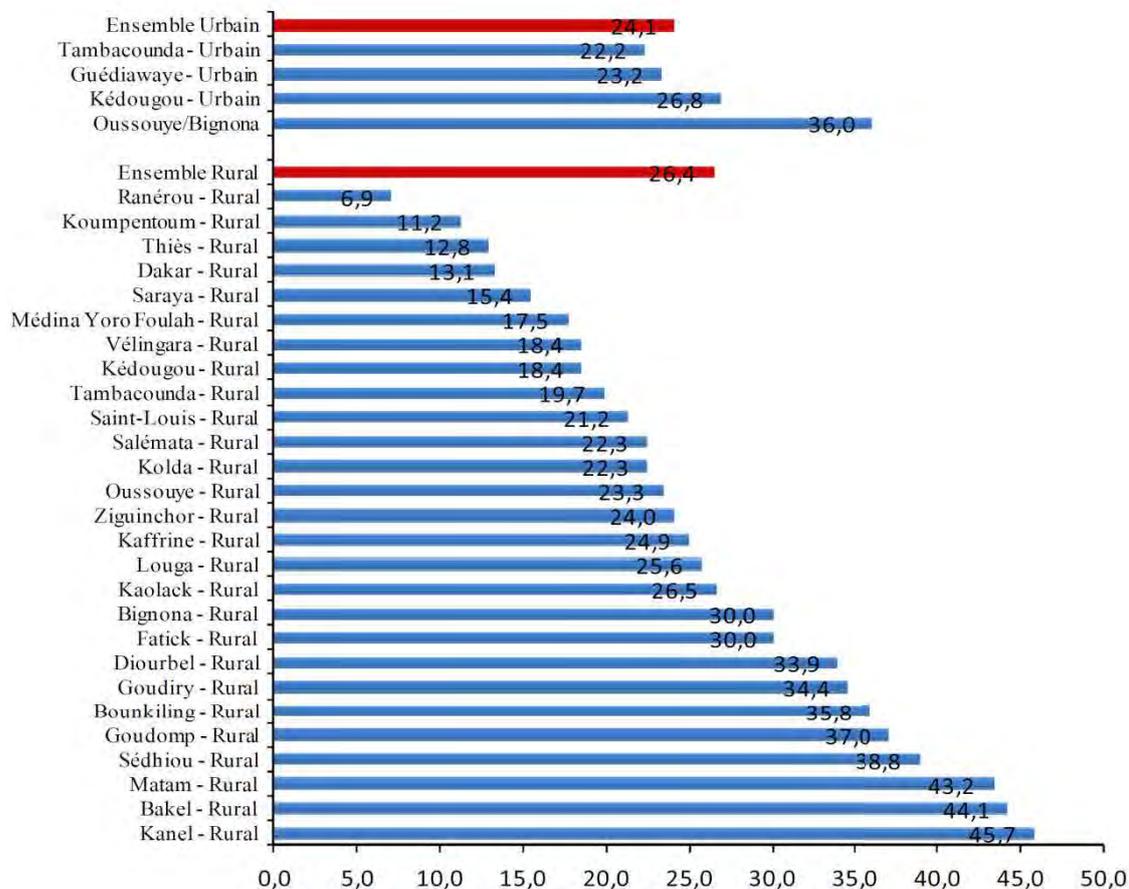
図表 44 セネガル各県の都市・州別の送金元の割合



(注) Urbain : 都市部、Rural : 地方

(出所) WFP/PAMI (2010) Analyse globale de la vulnérabilité, de la sécurité alimentaire et de la nutrition, p.170, <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp244420.pdf> (2014年1月6日アクセス)

図表 45 各県（都市・州）別の送金が所得に占める割合



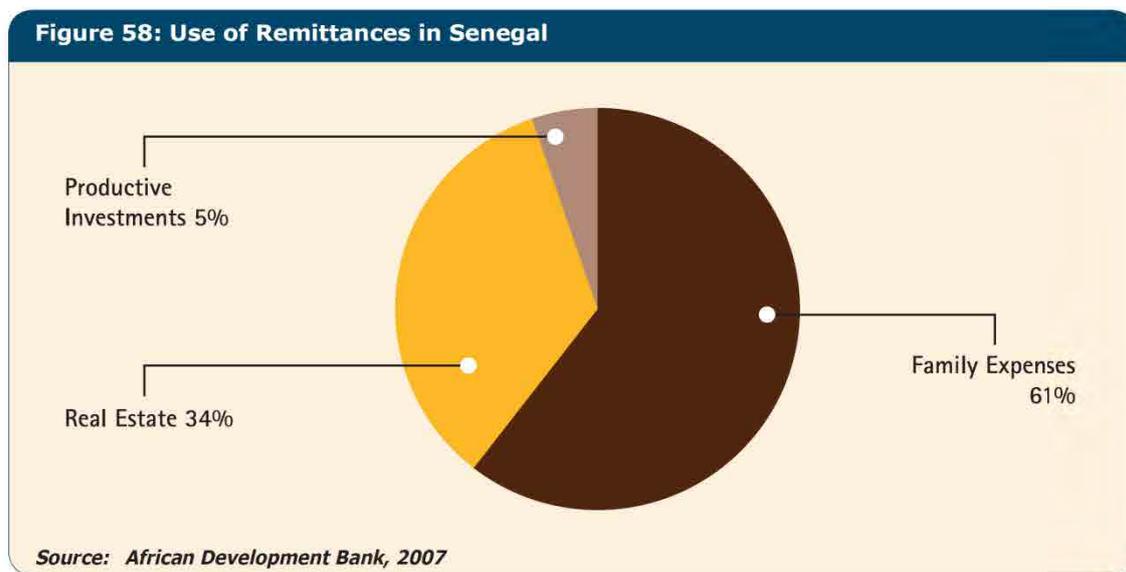
(出所) WFP/PAM (2010) Analyse globale de la vulnérabilité, de la sécurité alimentaire et de la nutrition, p.84, <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp244420.pdf> (2014年1月6日アクセス)

送金の用途について見てみると、送金はまず食糧購入に充てられ、次に教育や保健などの基礎的社会サービスへのアクセスに使われている。したがって、送金は、食糧安全保障や基礎的社会サービスにおいて極めて重要な役割を果たしている⁷⁴。他方で、セネガルにおける送金の61%が各家庭の消費に充てられ、産業活動に投資されている送金の割合は5%にとどまる(図表 46)。他の国と比較すると、マリでは18%、モロッコでは14%が投資に向けられている⁷⁵。

⁷⁴ WFP/PAM(2010) Analyse globale de la vulnérabilité, de la sécurité alimentaire et de la nutrition, p.84, <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp244420.pdf> (2014年1月6日アクセス)

⁷⁵ Ministry of Economy and Finance of Senegal (2011) Senegal National Competitiveness Report, p.69, <http://www.sca.sn/images/stories/documents/RNCSAnglais.pdf> (2014年1月6日アクセス)

図表 46 セネガルにおける送金の使用（2005 年）



(注) データは 2005 年

(出所) Ministry of Economy and Finance of Senegal (2011) Senegal National Competitiveness Report, p.69, <http://www.sca.sn/images/stories/documents/RNCSAnglais.pdf> (2014 年 1 月 6 日アクセス)

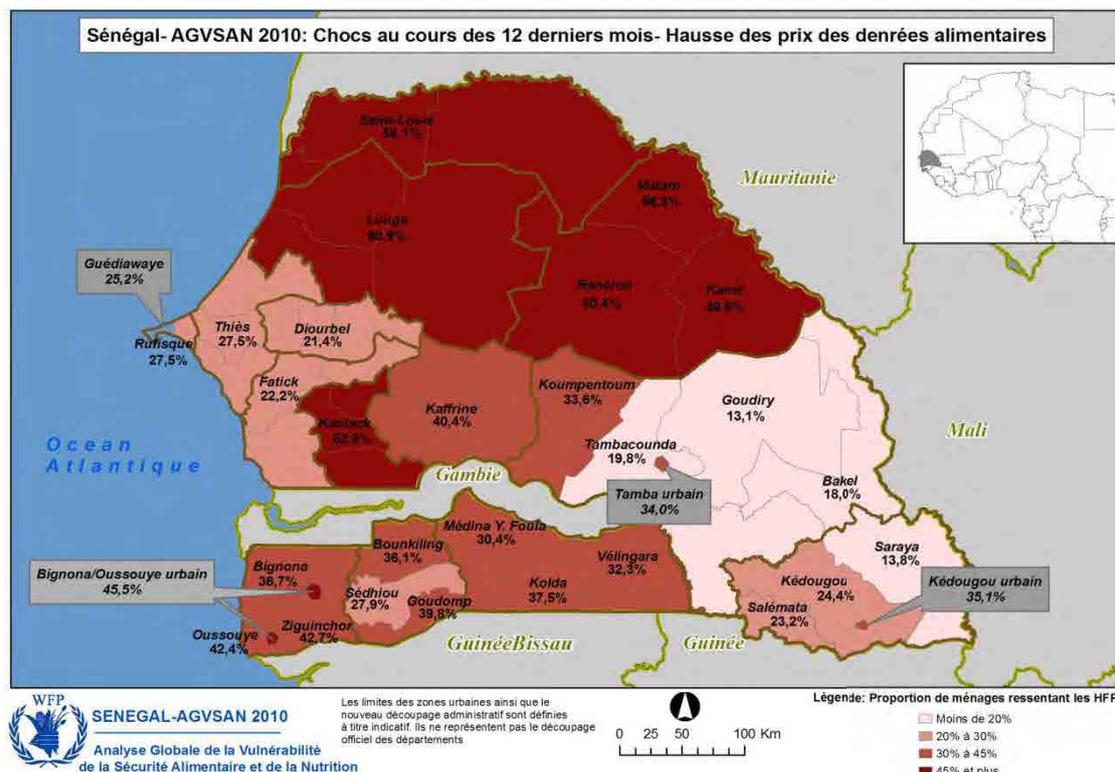
3. 食糧価格

食糧安全保障の調査によると、2009 年 4 月から 2010 年 4 月までの間にセネガルの世帯が受けた外部的なショックの中で、最も割合が多かった項目は 2008 年の経済危機以降継続する食糧価格の高騰であった（国全体：33.8%、地方：34.3%、都市部：29.4%）。セネガルの多くの世帯が、自給ではなく市場で食糧を購入するため、食糧価格高騰は大きな影響を及ぼす。このような食糧価格の高騰は、畜産を主とするセネガル北部において深刻である。これは穀物と家畜の取引に、穀物価格が直接的に影響したためと考えられる。さらに、畜産では 1 月から 5 月の間に移牧を行っている場合には、家畜用飼料を購入する必要があることも要因となっている⁷⁶。

⁷⁶ République du Sénégal (2010) Analyse globale de la vulnérabilité, de la sécurité alimentaire et de la nutrition, pp.112-113. <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp244420.pdf> (2014 年 1 月 6 日アクセス) 第二位には、世帯構成員の死亡やけが（21.2%）が挙げられている。

地図 4 食糧価格により影響を受けた地域（2009年4月 - 2010年4月）

Carte 10: Chocs au cours des 12 derniers mois: Hausse des prix des denrées alimentaires



(出所) WFP/PAM (2010) Analyse globale de la vulnérabilité, de la sécurité alimentaire et de la nutrition, p.113, <http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp244420.pdf> (2014年1月6日アクセス)

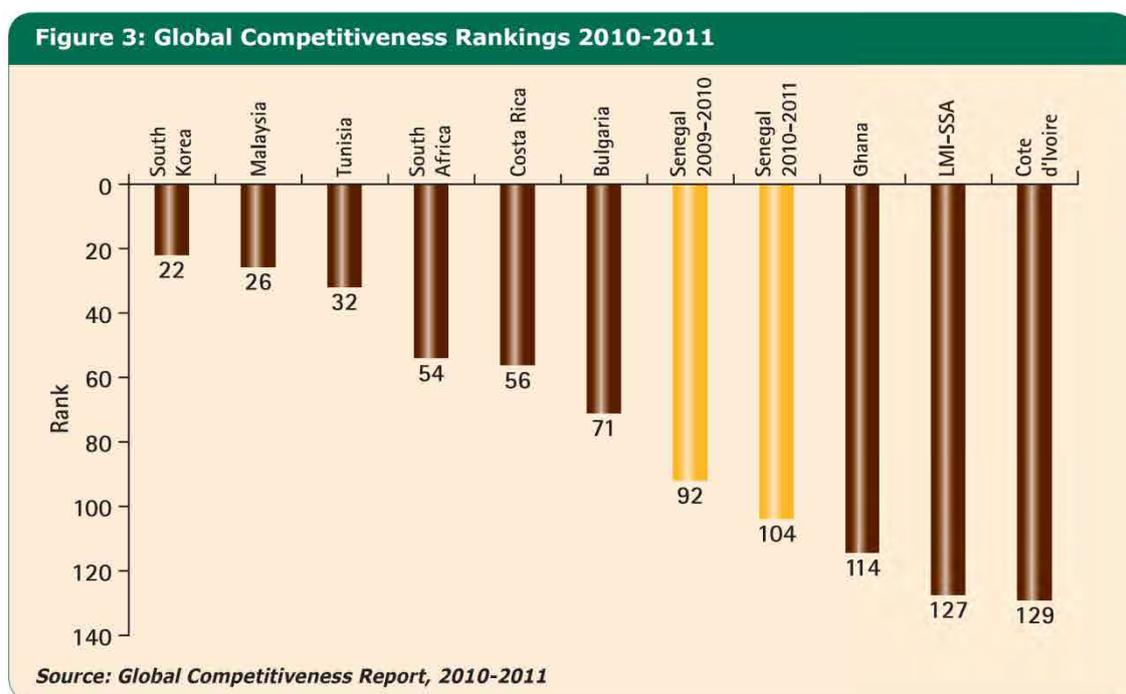
VII. 重点支援分野と貧困の関連性

1. 持続的経済成長の後押し

(1) セネガル経済の競争力

セネガル経済の競争力は、2010年/2011年のランキングによると世界139か国中で104位と低位置にあり、前回調査時の92位から後退している。また、世界銀行によるDoing Businessによると、セネガルはDoing Business 2014では189国・地域中で178位と非常に低位に位置している⁷⁷。

図表 47 競争力ランキング（2010年 - 2011年）

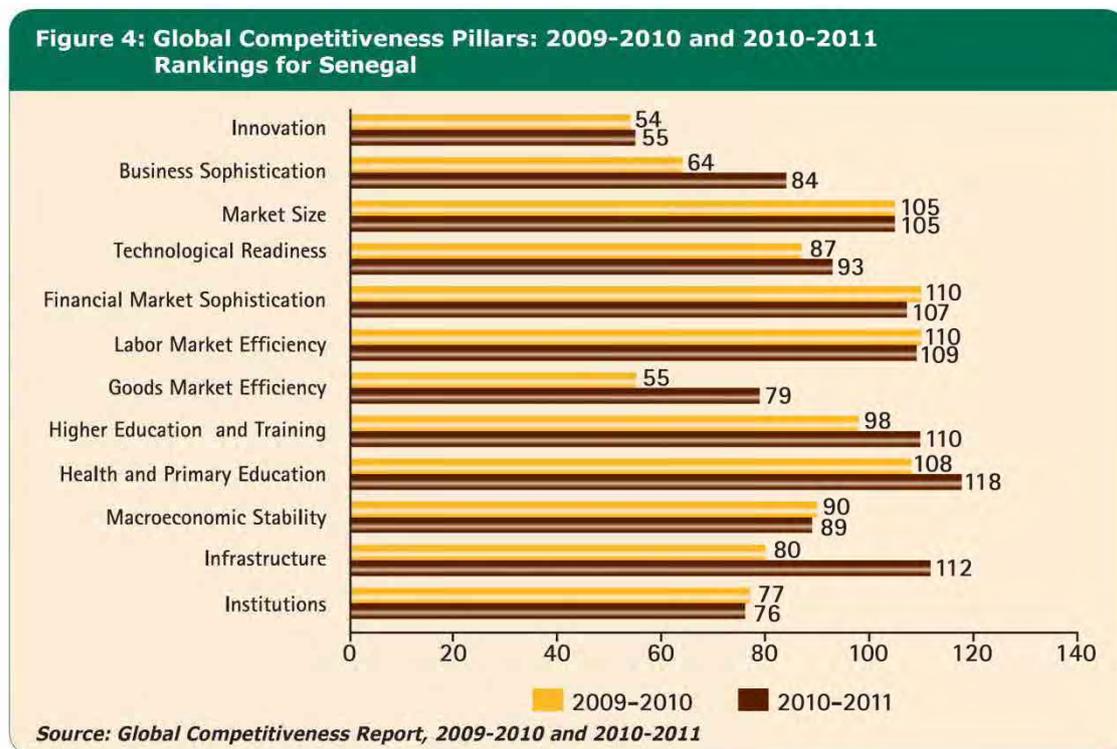


(出所) Ministry of Economy and Finance of Senegal (2011) Senegal National Competitiveness Report, p.25, <http://www.sca.sn/images/stories/documents/RNCSAnglais.pdf> (2014年1月6日アクセス)

グローバル競争力の指標をみると（図表 48）、セネガルのインフラに関する評価は悪化しており、特に道路、電気供給、航空輸送の観点での評価が低い。さらに、新しい指標として導入された携帯電話契約者数においても、セネガルの状況は芳しくない（113位）。高等教育・研修及び保健・初等教育でも、セネガルはそれぞれ110位、118位と前回調査時よりも悪化している。

⁷⁷ World Bank (2013) Doing Business 2013 : Understanding Regulations for Small and medium-Size Enterprises
http://www.doingbusiness.org/data/exploreeconomies/~/_media/giawb/doing%20business/documents/profiles/country/SEN.pdf?ver=2 (2014年1月6日アクセス)

図表 48 グローバル競争力の各指標（2009年 - 2010年、2010年 - 2011年）



(出所) Ministry of Economy and Finance of Senegal (2011) Senegal National Competitiveness Report, p.26, <http://www.sca.sn/images/stories/documents/RNCSAnglais.pdf> (2014年1月6日アクセス)

(2) インフラ

セネガルでは電力供給は大きな課題であり、**Doing Business**においても電気に関する指標は、182位 (**Doing Business 2014**) と極めて低いランクとなっている⁷⁸。

都市部全体では77%が電化し、アフリカにおける平均よりは高いものの、地方は16%とアフリカ平均より低い。実際に、電力価格及び電力供給は民間セクターにとって懸念事項となっている。セネガルの発電所の半分以上は、10年以上前に建設されており、稼働が頻繁に停止し、発電の効率性も低い状況にある。さらに配電のインフラ状況も整備されておらず、発電所の効率性は30%と推定され、配電システムの非効率性により20%の電力が失われているとされる⁷⁹。

また、セネガルは発電及び運輸セクターで輸入石油に依存しているため、石油価格の高騰はセネガル経済全体に大きな影響を与えている。一般に、セネガル経済のインフレ率は比較的安く、年間でおおよそ2.1%である。しかし、2007年及び2008年のインフレ率はそれ

⁷⁸ World Bank (2013) **Doing Business 2013 : Understanding Regulations for Small and medium-Size Enterprises**
http://www.doingbusiness.org/data/exploreeconomies/~/_media/giawb/doing%20business/documents/profiles/country/SEN.pdf?ver=2 (2014年1月6日アクセス)

⁷⁹ Ministry of Economy and Finance of Senegal (2011) **Senegal National Competitiveness Report**, p.82,
<http://www.sca.sn/images/stories/documents/RNCSAnglais.pdf> (2014年1月6日アクセス)

ぞれ 5.9%と 5.8%に達したが、この背景には食糧価格と石油価格の高騰があったと推定されている⁸⁰。

地域別にみても、ダカールではセネガル電力公社（Société nationale d'électricité du Sénégal : SENELEC）による配電を受けて照明を使用している世帯が 93.8%、その他都市部においても 82.5%と高い割合になっている。しかし、地方においては電力会社による電気を使用している世帯数は 24.9%にとどまり、約半数の 49.1%の世帯が充電式のランプ（lampe rechargeable）を使用し、電化が進んでいない（図表 49）。

図表 49 照明の電力源（2011 年）

Tableau 2.14 : Répartition des ménages par source d'éclairage selon le milieu de résidence

Source d'éclairage.	Milieu de résidence			Ensemble
	Dakar urbain	Autres centres urbains	rural	
électricité (SENELEC)	93,8	82,5	24,9	56,7
groupe électrogène	0,2	0,1	0,5	0,3
solaire	0,1	0,1	3,4	1,7
lampe à gaz	0,1	0,0	0,4	0,2
lampe tempête	0,0	1,2	3,0	1,7
lampe à pétrole artisanale	0,1	0,4	1,2	0,7
lampe rechargeable	0,7	6,3	49,1	26,3
bougie	3,2	8,0	7,6	6,4
bois	0,0	0,1	0,9	0,5
autre	1,9	1,3	9,1	5,4
Total	100	100	100	100

Source: ESPS-II, ANSD, Dakar, Sénégal.

(出所) République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.19

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

(3) 農業

セネガルにおける農業生産性は改善がみられるものの、他国と比較しても生産性は低く、セネガル経済全体の生産性を押し下げる原因ともなっている。実際に、セネガルの労働人口の約 51.5%は農業セクターに従事しているが（2000年 - 2009年）、経済への付加価値という観点では 15.6%を占めるのみである。したがって、セネガル経済の成長のためには、農業セクターにおいて農業生産性を上げること、さらに産業セクターと農業セクターの連関を強化することが重要である⁸¹。

セネガルにおける農業の課題の歴史的な背景としては、セネガルの農業構造は植民地時代から継続する落花生栽培の単一栽培であり、自給自足の農業よりも、都市部向けの米や

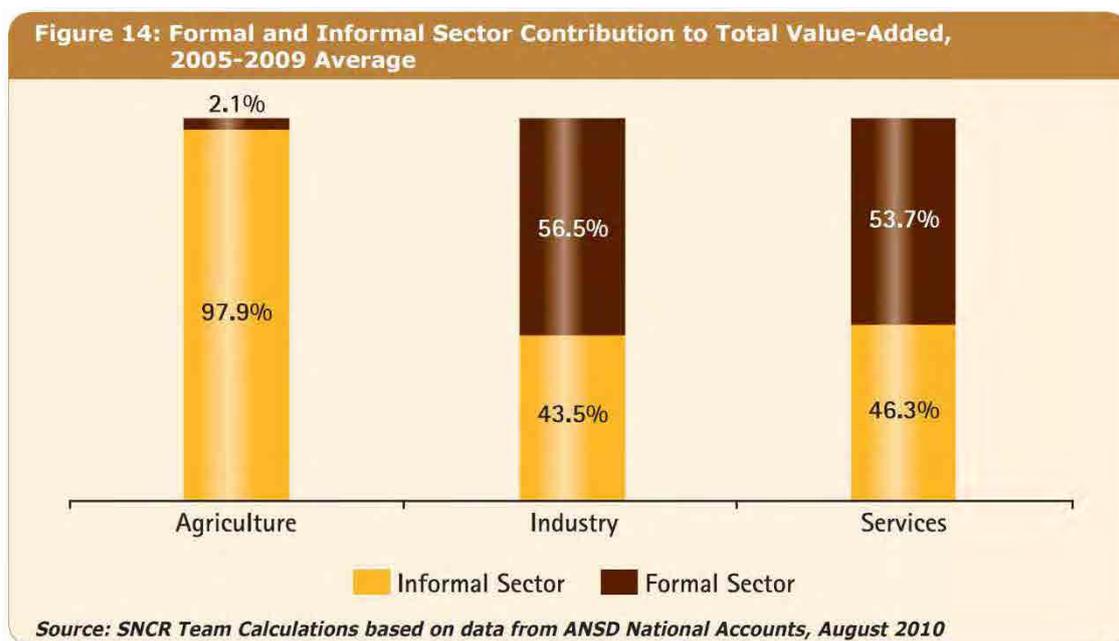
⁸⁰ Ministry of Economy and Finance of Senegal (2011) Senegal National Competitiveness Report, p.39, <http://www.sca.sn/images/stories/documents/RNCSAnglais.pdf> (2014年1月6日アクセス)

⁸¹ Ministry of Economy and Finance of Senegal (2011) Senegal National Competitiveness Report, p.35, <http://www.sca.sn/images/stories/documents/RNCSAnglais.pdf> (2014年1月6日アクセス)

小麦の輸入が優先され、畜産業が十分に発展しなかったことも指摘できる⁸²。

また、農業の低い生産性の理由として、インフォーマルな主体により農業が行われていることも挙げられている。総付加価値に占めるインフォーマルセクターとフォーマルセクターの平均割合をみると、インフォーマルセクターが占める割合は 97.9%となっている（図表 50）。National Competitiveness Report によれば、インフォーマル農業セクターの生産性は、フォーマル農業セクターの生産性の 10%程度とされている。

図表 50 フォーマル及びインフォーマルセクターの付加価値に占める割合
(2005年 - 2009年平均)



(出所) Ministry of Economy and Finance of Senegal (2011) Senegal National Competitiveness Report, p.37, <http://www.sca.sn/images/stories/documents/RNCSAnglais.pdf> (2014年1月6日アクセス)

農業と貧困との関連では、フォーマル、インフォーマルを問わず、職業と貧困率の割合からみると、国全体では独立農業従事者が世帯主の世帯において貧困率が 59.8%と最も高く、貧困人口全体に占める割合も 31%と高い割合である。

⁸² ASPRODEB (2007) Dimensions structurelles de la liberalization pour l'agriculture et le développement rural, Programme RuralStruc-Phase I, p.v http://siteresources.worldbank.org/AFRICAEXT/Resources/RURALSTRUC-SENEGAL_Phase1.pdf (2014年1月6日アクセス)

図表 51 世帯主の職業別貧困率（2011年）

職種	貧困率	貧困 ギャップ率	二乗貧困 ギャップ率	割合	貧困層人口
ダカール					
公的セクター	25.6	5.5	1.3	6.9	57,368
民間給与所得者	23.3	7.3	3.2	11.5	94,854
独立農業従事者	24.2	6.5	3.0	2.1	17,710
独立非農業従事者	18.8	4.5	1.8	14.3	118,156
その他非独立者（家族 の支援、見習等）	26.6	7.2	3.2	21.0	173,841
無職	30.9	5.1	1.5	44.1	363,979
全体	26.1	5.8	2.1	-	825,908
その他都市					
公的セクター	18.2	5.2	2.3	3.8	43,359
民間給与所得者	35.5	8.8	3.2	9.0	101,920
独立農業従事者	51.3	15.9	6.8	7.5	85,075
独立非農業従事者	32.4	8.8	3.5	11.7	132,584
その他非独立者（家族 の支援、見習等）	39.6	12.5	5.5	27.8	313,515
無職	53.4	18.9	9.1	40.1	453,301
全体	41.2	13.1	5.9	-	1,129,754
地方					
公的セクター	31.8	12.7	6.8	0.6	24,758
民間給与所得者	48.9	13.2	5.6	3.3	146,163
独立農業従事者	61.1	18.8	8.2	42.5	1,873,132
独立非農業従事者	37.5	12.1	5.5	9.0	397,083
その他非独立者（家族 の支援、見習等）	64.0	22.3	10.7	31.0	1,369,414
無職	55.5	19.3	9.9	13.6	601,521
全体	57.1	18.6	8.7	-	4,412,071
全体					
公的セクター	23.2	6.4	2.5	2.0	125,485
民間給与所得者	34.5	9.5	3.9	5.4	342,937
独立農業従事者	59.8	18.4	8.0	31.0	1,975,917
独立非農業従事者	30.9	9.2	4.0	10.2	647,823
その他非独立者（家族 の支援、見習等）	51.8	17.4	8.2	29.2	1,856,770
無職	45.6	13.8	6.5	22.3	1,418,801
全体	46.7	14.5	6.6	-	6,367,733

（出所） République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.34

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf （2014年1月6日アクセス）

（4）インフォーマルセクター（非農業分野）

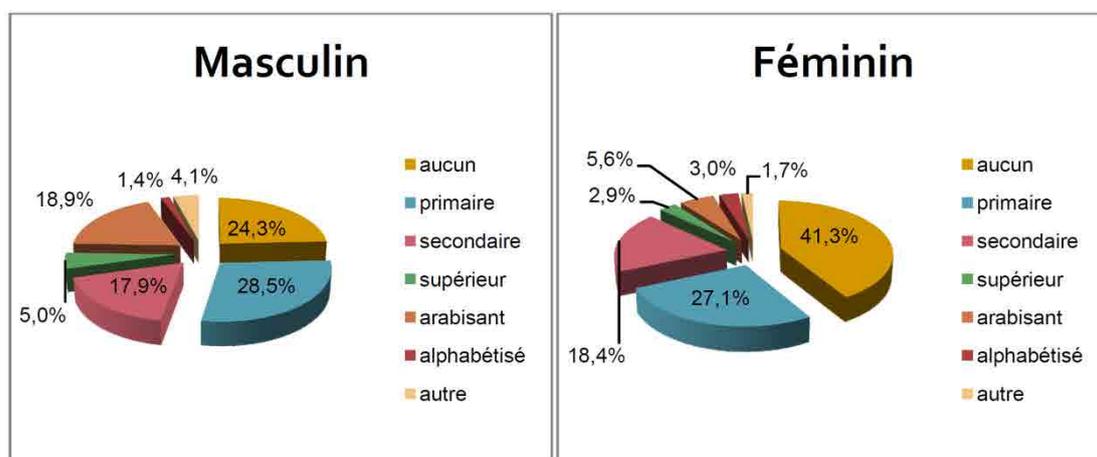
インフォーマルセクターがセネガル経済に占める割合は大きく、税収や生産性の観点から、インフォーマルセクターが公共財政の安定性や国民生産に与える影響が指摘されている

る⁸³。

非農業分野のインフォーマルセクターの事業主の大半の教育程度は低く、初等教育 (primaire) のみ (28.2%) 及び無教育 (aucun) (27.7%) の割合が最も大きい。中等教育 (secondaire) (18.0%)、アラビア語学習者 (arabisant) (16.2%)、高等教育 (supérieur) (4.5%)、識字教育 (alphabétisé) (1.7%) となっている。男女別でみると、インフォーマルセクターの事業主 (Chefs d'unités de production informelles) である女性の中で、いかなるレベルの教育も受けていない割合は41.3%に上り、男性よりも割合が大きくなっている⁸⁴。

図表 52 インフォーマルセクターにおける事業主の教育レベル (性別)

Figure 3 : Répartition du niveau d'études des chefs d'unités de production informelles selon le sexe



(出所) Agence Nationale de la Statistique et de la Démographie (ANSD) (2013) Enquête nationale sur le secteur informel au Sénégal, Rapport Final, p.22

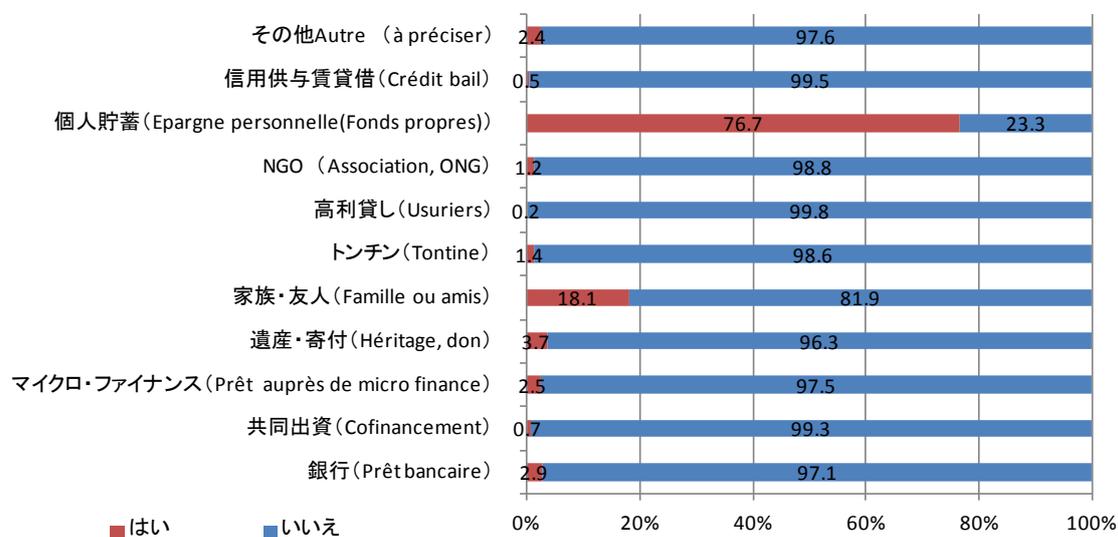
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport-final-ENSIS.pdf (2014年1月6日アクセス)

インフォーマルセクターにおける事業活動は、不安定な状況の中で行われている。たとえば、インフォーマルセクターの事業活動では、インフォーマルセクターの事業主の個人貯蓄が主要な資本であり (76.7%)、その他の主要な資金源としては両親や友人からの資本 (18.1%) が挙げられる。

⁸³ Ministry of Economy and Finance of Senegal (2011) Senegal National Competitiveness Report, April 2011, p.52, <http://www.sca.sn/images/stories/documents/RNCSAnglais.pdf> (2014年1月6日アクセス)

⁸⁴ Agence Nationale de la Statistique et de la Démographie (ANSD) (2013) Enquête nationale sur le secteur informel au Sénégal, Rapport Final, pp.21-22, http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport-final-ENSIS.pdf (2014年1月6日アクセス)

図表 53 インフォーマル事業の資本源



(出所) Agence Nationale de la Statistique et de la Démographie (ANSD)(2013) Enquête nationale sur le secteur informel au Sénégal, Rapport Final, p.39
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport-final-ENSIS.pdf (2014年1月6日アクセス)

2. 基礎生活の拡充

(1) 保健・衛生

人々の間で利用されている保健・医療機関は、地域を問わず、病院 (Hôpital)、保健センター (Centre de santé)、保健ポスト (Poste de santé) が主要な機関である。伝統医療者 (Tradipraticien) を利用する割合はあまり多くない。

図表 54 居住地別診療を受けた保健・医療機関

サービスの種類	居住地			全体
	ダカール都市部	その他都市部	地方	
病院 (Hôpital)	26.6	40.8	18.6	24.9
クリニック (Clinique)	10.4	7.1	2.7	5.4
保健センター (Centre de santé)	19.1	14.4	8.6	12.2
保健ポスト (Poste de santé)	31.6	26.9	54.2	43.5
保健小屋 (Case de santé)	0.8	0.5	9.4	5.6
民間医療者・マラブー (Guérisseur/Marabout)	1.2	1.6	2.9	2.2
伝統医療者 (Tradipraticien)	0.7	0.5	1.0	0.8
その他 (Autre)	9.8	8.2	2.7	5.4
総計 (Total)	100.0	100.0	100.0	100.0

(出所) République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.60

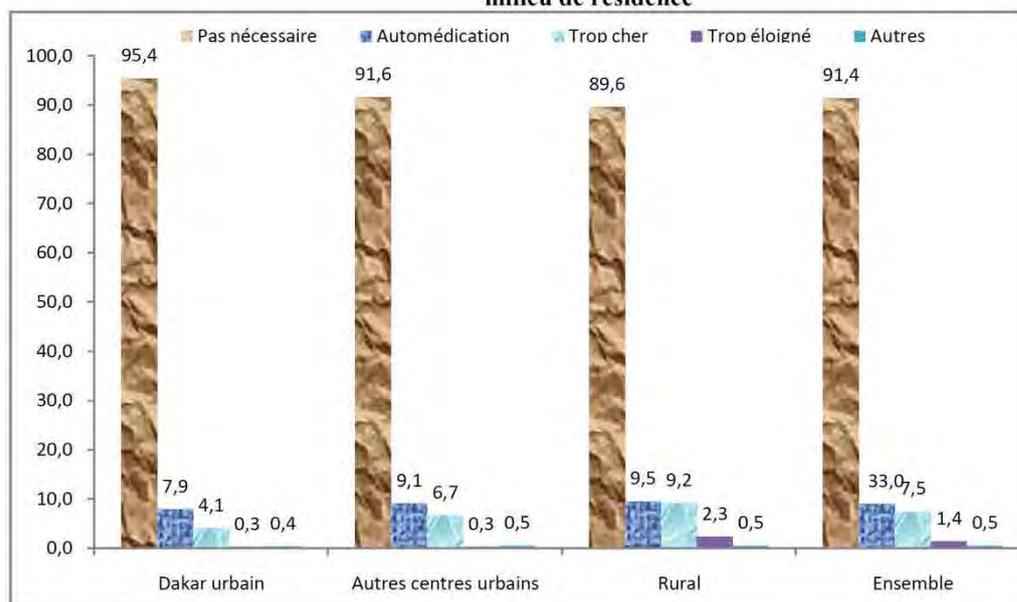
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

ESPS-IIによると、調査対象期間に診療を受けた割合は国全体で15%のみであった。居住地域別にみると、ダカールでは15%、その他都市部で14.7%、地方で15.2%であり、居住地域別には大きな違いはない。人々が診療を受けない理由は、必要性を感じないため (pas nécessaire) が最も多く、国全体で91.4%を占めた。地域別では、ダカールでは当該割合は95.4%、その他都市部では91.6%、地方では89.6%であり、地方で若干低かった。続いてセルフ・メディケーション (automédication)、高い費用 (Trop cher)、遠い (Trop éloigné) などの理由が挙げられている⁸⁵。

⁸⁵ République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, pp.60-61.
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

図表 55 保健サービスを利用しない理由

Graphique 7.7 : Pourcentage des individus par raison de la non utilisation de service de santé selon le milieu de résidence



Source: ESPS-II, ANSD, Dakar, Sénégal.

(注) Pas nécessaire : 不必要、Automédication : セルフ・メディケーション、Trop cher : 費用が高すぎる、Trop éloigné : 遠すぎる、Autres : その他

(出所) République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.62

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

保健・医療への一人当たりの年間支出は、国全体では 2,461FCFA である。しかし居住地域別にみると、地方では保健・医療に関する支出が少なく 1,764FCFA であるが、ダカールの場合は 3,857FCFA、その他都市部では 2,766FCFA と、地方と都市部との大きな差がある。

衛生の点では、概ねの世帯において水道が主要な水源となっており、国全体では屋内の水道水が水源の世帯は 50.2% である。ダカールでは、水道へのアクセスがない世帯は全体の 3.9% であり、その内の多くは水売りから水を購入している (図表 56)。

公衆衛生施設へのアクセスは今後も改善の余地が大いにある。ダカールは他の地域よりも比較的良好な環境であり、96.8% の世帯が水洗式トイレを使用している。その他の都市部では当該割合は 62.6%、地方においては 22.5% となる。地方の場合は、トイレを持たない世帯の割合も多く、25.4% は屋外で用を足している状況にある (図表 57)。

図表 56 居住地域別世帯の水源

水源	居住地域			全体
	ダカール (都市)	その他都市部	地方	
水道（内部）	80.2	66.9	26.3	50.2
水道（公共）	7.0	8.0	22.2	14.9
水道（隣人）	8.3	4.3	5.2	5.9
保護付き井戸	0.6	10.7	7.8	6.3
保護なし井戸	0.0	7.1	28.1	15.6
掘削（モーター）	0.0	0.1	4.0	2.0
掘削（手動ポンプ）	0.0	0.1	2.2	1.1
公共水サービス	0.0	0.0	0.2	0.1
ミネラルウォーター、フィルター使用の水	0.0	0.1	0.0	0.0
水売り	3.5	2.0	2.2	2.5
水路	0.1	0.1	1.4	0.7
その他	0.3	0.7	0.5	0.5
合計	100	100	100	100

（出所）République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, pp.19-20
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf（2014年1月6日アクセス）

図表 57 居住地別トイレの種類の割合

トイレの種類	居住地域			全体
	ダカール (都市)	その他都市部	地方	
下水付き水洗（chasse d'eau avec égout）	45.4	6.6	1.5	15.2
腐敗槽付き水洗 （chasse d'eau avec fosse septique）	51.4	56.0	21.0	37.0
囲い付きピット式便所 （latrines couvertes）	1.3	16.6	23.9	10.8
通気改良型ピット式便所 （latrines ventilées améliorées）	0.1	4.8	6.2	4.1
囲いなしピット式便所 （latrines non couvertes）	0.1	10.4	22.8	13.7
便器・バケツ（cuvette/seau）	0.8	2.2	2.3	1.8
共同便所（édicule public）	0.0	0.0	0.3	0.1
隣人宅の便所（chez le voisin）	0.6	2.0	5.2	3.2
屋外（dans la nature）	0.1	0.9	35.4	13.0
その他（autres）	0.2	0.6	1.6	1.0
総計	100	100	100	100

（出所）République du Sénégal (2013), Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.20
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf（2014年1月6日アクセス）

(2) 教育

セネガルにおける教育に関する支出が国家予算に占める割合は 19.0%であり、ブルキナファソ、コートジボワールと比較すると低いものの、UEMOA 内では中位程度にある。

図表 58 教育振興に係る指標

国	教育に関する支出 (予算割合：%)			初等教育の教員数 (1,000 人)			初等教育における女子の男子 に対する割合 (%)		
	2005 (1)	2007- 2011 (2)	(2)-(1)	2005- 2006 (1)	2009- 2011 (2)	(2)-(1)	2005 (1)	2010- 2011 (2)	(2)-(1)
ベナン	17.9	18.2	0.3	28.1	38.5	10.4	50.0	87.0	37
ブルキナ ファソ	16.4	21.8	5.4	26.9	42.9	16.0	63.0	89.0	26
コート ジボワール	21.8	24.6	2.8	45.8	56.6	10.8	71.0	83.0	12
ギニア・ ビサウ	-	-	-	4.3	5.4	1.1	58.0	94.0	36
マリ	14.8	18.1	3.3	27.7	50.6	22.9	57.0	85.0	28
ニジェール	12.4	10.3	-2.1	24.1	49.0	24.9	56.0	79.0	23
セネガル	18.9	19.0	0.1	34.7	50.4	15.7	74.0	104.0	30
トーゴ	18.7	17.6	-1.1	29.7	31.7	2.0	65.0	90.0	25

(出所) UEMOA, Rapport sur la situation de la pauvreté dans les pays de l'UEMOA, p.19

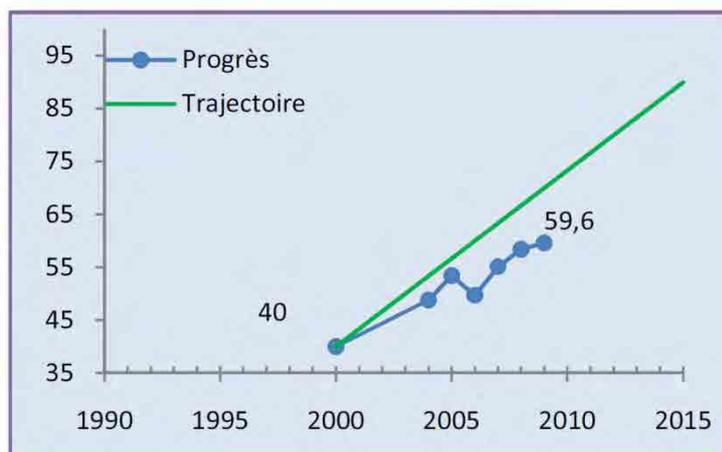
http://www.bceao.int/IMG/pdf/rapport_sur_la_situation_de_la_pauvrete_dans_les_pays_de_l_uemoa.pdf

(2014 年 1 月 6 日アクセス)

教育のアクセスという点では、初等教育の純就学率は改善しているが、初等教育の修了率は 10 人中 6 人であり (2009 年)、MDG の目標である 2015 年までに 10 人中 9 人という修了率を達成することは困難な見込みである。

図表 59 初等教育修了率の推移（2000年 - 2009年）（再掲）

Figure 5 : Taux d'achèvement au primaire



Source : DPPE, Juin 2010

(注) Progrès : 進捗状況、Trajectoire : (目標達成に向けた最短の) 軌道

(出所) République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaire pour le développement, Progrès réalisés et perspectives, p.6

http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Country%20Reports/Senegal/Progress_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf

教育の質については、学校で直面している課題があると答えた児童は 16.1%に上っている。課題として挙げられた項目の中では、居住地域や教育のレベルに関わらず、本や必需品の不足を掲げる生徒の割合が最も多かった。同割合は、初等・中等教育全体では、ダカールにおいて 52.7%、その他都市部では 47.9%、地方では 56%である（図表 60）。

次に指摘されている課題は、教員の質と数の問題である。ダカールや都市部では、教員の数よりも教員の質を課題として挙げる割合が多い傾向にある。その一方で、地方では教員数が少ないことが主要な課題となっている⁸⁶。

⁸⁶ République du Sénégal (2013), Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, Mai 2013, p.54
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014年1月6日アクセス)

図表 60 学校において生徒が抱える課題（居住地別）

	本・必需品の 不足	教員の質が 低い	教員数が少 ない	校舎の状態 が悪い	学費	その他
初等教育						
ダカール	52.7	50.5	29.6	24.3	9.5	3.8
その他 都市部	49.1	41.4	19.2	33.9	5.6	5.1
地方	54.3	18.1	31.8	50.0	4.6	4.1
総計	52.9	29.7	28.8	41.3	5.8	4.2
後期初等教育						
ダカール	56.5	42.6	31.6	22.1	9.6	1.9
その他 都市部	47.9	33.0	37.8	41.7	3.9	3.4
地方	60.9	12.7	36.7	47.7	3.5	5.7
総計	56.5	23.9	36.0	41.2	4.8	4.3
中等教育						
ダカール	54.0	23.8	28.2	19.9	21.8	0.0
その他 都市部	46.8	39.1	44.4	38.8	10.0	5.9
地方	56.0	32.6	50.5	38.0	7.0	9.5
総計	51.2	34.3	43.8	35.3	10.9	6.2
全体						
ダカール	52.7	48.7	27.2	24.6	10.3	3.1
その他 都市部	47.9	37.5	31.4	37.4	6.7	5.2
地方	56	17.1	34.3	48.5	5	4.9
総計	53.3	29.3	32	40.3	6.6	4.6

（出所）République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.55
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf（2014年1月6日アクセス）

世帯主の教育レベルにより貧困率を比較すると、教育を受けていない (sans instruction)⁸⁷ 世帯主の世帯では、一般に貧困率が他の世帯よりも高く、国レベルでは 53.6%となっている。また、実際の貧困層人口をみると、教育を受けていない世帯主の貧困世帯の人口は、貧困人口全体の 83.1%を占め、世帯主の受けた教育が初等教育レベルの場合は 11.1%である（図表 61）。

⁸⁷ 教育 (instruction) とは、ここではフランス語、アラビア語やその他の言語において、定期的に教育機関に通学していたかどうかで分類している。

図表 61 世帯主の教育レベル別貧困率 (2011 年)

教育レベル	貧困率	貧困 ギャップ率	二乗貧困 ギャップ率	割合	貧困層人口
ダカール					
教育を受けていない	37.0	8.2	2.9	70.9	585,741
初等教育	22.4	4.4	1.6	21.5	177,236
中等教育 1	8.1	2.2	1.0	3.9	32,473
中等教育 2	11.3	2.5	1.0	2.8	23,498
高等教育	3.7	2.1	1.2	0.8	6,960
全体	26.1	5.8	2.1	-	825,908
その他都市					
教育を受けていない	48.4	15.3	6.8	66.6	752,117
初等教育	38.7	13.1	6.2	19.5	219,865
中等教育 1	33.3	11.1	5.0	8.7	97,747
中等教育 2	19.3	3.8	1.3	3.5	39,104
高等教育	16.8	6.3	2.9	1.9	20,921
全体	41.2	13.1	5.9	-	1,129,754
地方					
教育を受けていない	58.7	19.1	8.9	89.6	3,948,527
初等教育	44.2	13.9	6.4	6.9	302,676
中等教育 1	56.4	19.0	9.2	2.2	96,984
中等教育 2	65.1	24.7	12.4	1.4	59,836
高等教育	2.6	0.4	0.1	0.0	912
全体	57.2	18.7	8.7	-	4,408,935
全体					
教育を受けていない	53.6	16.8	7.6	83.1	5,286,385
初等教育	34.2	10.0	4.5	11.0	699,777
中等教育 1	26.3	8.6	4.0	3.6	227,204
中等教育 2	24.4	7.1	3.2	1.9	122,438
高等教育	8.3	3.4	1.7	0.5	28,793
全体	46.7	14.5	6.6	-	6,364,597

(出所) République du Sénégal (2013) Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif, p.34

http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014 年 1 月 6 日アクセス)

添付 1. 参考文献リスト

- République du Sénégal, Stratégie nationale de développement économique et social 2013-2017
http://www.gouv.sn/IMG/pdf/SNDES_2013-2017_-_version_finale_-_08_novembre_2012.pdf (2014年1月6日アクセス)
- Agence Nationale de la Statistique et de la Démographie (ANSD) (2013) Enquête nationale sur le secteur informel au Sénégal, Rapport Final
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport-final-EN-SIS.pdf (2014年1月6日アクセス)
- Agence Nationale de la Statistique et de la Démographie (ANSD) et ICF International, Enquête démographique et de santé continue au Sénégal (EDS-Continue 2012-2013), Rapport final 1^{ère} année
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/EDS-continue_2012-2013.pdf (2014年1月6日アクセス)
- Ministère de l'économie et des finances (2013) Situation économique et financière en 2012 et perspectives 2013
http://www.dpee.sn/IMG/pdf/situation_economique_et_financiere_2012_et_perspectives_2013.pdf (2014年1月6日アクセス)
- MEF, PNUD, Rapport de suivi des OMD 2000-2012
http://www.un.org.sn/IMG/pdf/undp-sn-Rapport_de_Suivi_des_OMD_SEN_2000-2012.pdf (2014年1月6日アクセス)
- Ministry of Economy and Finance of Senegal (2011) Senegal National Competitiveness Report. <http://www.sca.sn/images/stories/documents/RNCSAnglais.pdf> (2014年1月6日アクセス)
- République du Sénégal (2010) Objectifs du millénaires pour le développement, Progrès réalisés et perspectives
http://www.undp.org/content/dam/undp/library/MDG/english/MDG%20Country%20Reports/Senegal/Progres_realises_et_defis_des_OMD_senegal_sept_2011.pdf (2014年1月6日アクセス)
- Direction de la prévision et des études économiques (2008) Impact des transferts des migrants sur la pauvreté au Sénégal, Document d'étude N°07
http://www.dpee.sn/IMG/pdf/74_transferts.pdf (2014年1月6日アクセス)
- République du Sénégal (2013), Enquête démographique et de santé continue au Sénégal (EDS-continue) 2012-2013, Rapport final 1^{ère} année
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/EDS-continue_2012-2013.pdf (2014年1月6日アクセス)

- République du Sénégal (2013) Enquête continue sur la prestation des services de soins de santé (ECPSS) du Sénégal, 2012-2013, Rapport 1^{ère} Année
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Enquete-continue-prestation-sante_2012-2013.pdf (2014年1月6日アクセス)
- République du Sénégal (2013), Deuxième enquête de suivi de la pauvreté au Sénégal (ESPS-II 2011), Rapport définitif
http://www.ansd.sn/publications/rapports_enquetes_etudes/enquetes/Rapport_ESPS-2011.pdf (2014年1月6日アクセス)
- Agence nationale de la statistique et de la démographie, Situation économique sociale du Sénégal en 2011
http://www.ansd.sn/publications/annuelles/SES_2011_def.pdf (2014年1月6日アクセス)
- WFP/PAM (2010) Analyse globale de la vulnérabilité, de la sécurité alimentaire et de la nutrition
<http://documents.wfp.org/stellent/groups/public/documents/ena/wfp244420.pdf> (2014年1月6日アクセス)
- UNDP (2013) Human Development Report 2013
http://hdr.undp.org/sites/default/files/reports/14/hdr2013_en_complete.pdf (2014年1月6日アクセス)
- UNDP (2010) Rapport national sur le développement humain, Changement climatique, Sécurité alimentaire et Développement humain
http://hdr.undp.org/sites/default/files/rndh_senegal_2010.pdf (2014年1月6日アクセス)
- UNDP Explanatory note on 2013 HDR composite indices
<http://hdr.undp.org/sites/default/files/Country-Profiles/SEN.pdf> (2014年1月6日アクセス)
- UEMOA, Rapport sur la situation de la pauvreté dans les pays de l'UEMOA
http://www.bceao.int/IMG/pdf/rapport_sur_la_situation_de_la_pauvrete_dans_les_pays_de_l_uemoa.pdf (2014年1月6日アクセス)
- World Bank (2013) Doing Business 2013 : Understanding Regulations for Small and medium-Size Enterprises
http://www.doingbusiness.org/data/exploreeconomies/~/_/media/giawb/doing%20business/documents/profiles/country/SEN.pdf?ver=2 (2014年1月6日アクセス)

- ASPRODEB (2007) Dimensions structurelles de la liberalization pour l'agriculture et le développement rural, Programme RuralStruc-Phase I
http://siteresources.worldbank.org/AFRICAEXT/Resources/RURALSTRUC-SENEGAL_Phase1.pdf (2014年1月6日アクセス)
- AbdouSalam Fall, Les Dynamiques de la pauvreté au Sénégal: Pauvreté chronique, pauvreté transitoire et vulnérabilités
http://www.chronicpoverty.org/uploads/publication_files/Pauvrett%C3%A9%20chronique%20Senegal.pdf (2014年1月6日アクセス)

添付 2. 主要な情報源リスト

- ・ JICA 研究所

<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/Index/Africa/Senegal.pdf>

セネガル国官庁

- ・ セネガル経済財務省 <http://www.finances.gouv.sn/>
- ・ セネガル国家統計人口局 <http://www.ansd.sn/>

国際機関

- ・ 国連開発グループ 国別チーム セネガル <http://www.un.org.sn/>
- ・ 世界銀行 (WB) セネガル <http://www.worldbank.org/en/country/senegal>
- ・ 国連開発計画 (UNDP) セネガル <http://www.undp.org.sn/>
- ・ アフリカ開発銀行 (AFDB) セネガル
<http://www.afdb.org/en/countries/west-africa/senegal/>
- ・ 国際連合食糧農業機関 (FAO) Country Profile: Senegal
<http://www.fao.org/countryprofiles/index/en/?iso3=SEN>

貧困データ

- ・ 世界銀行データ
<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/Index/Africa/Senegal.pdf>
- ・ 国連公式 MDG データ セネガル
<http://mdgs.un.org/unsd/mdg/Resources/Static/Products/Progress2012/Snapshots/SEN.pdf>
- ・ UNDP 人間開発指標 セネガル
<http://hdr.undp.org/en/countries/profiles/SEN>